

令和元年度
公益財団法人神戸市民文化振興財団事業概要

市民参画推進局

目 次

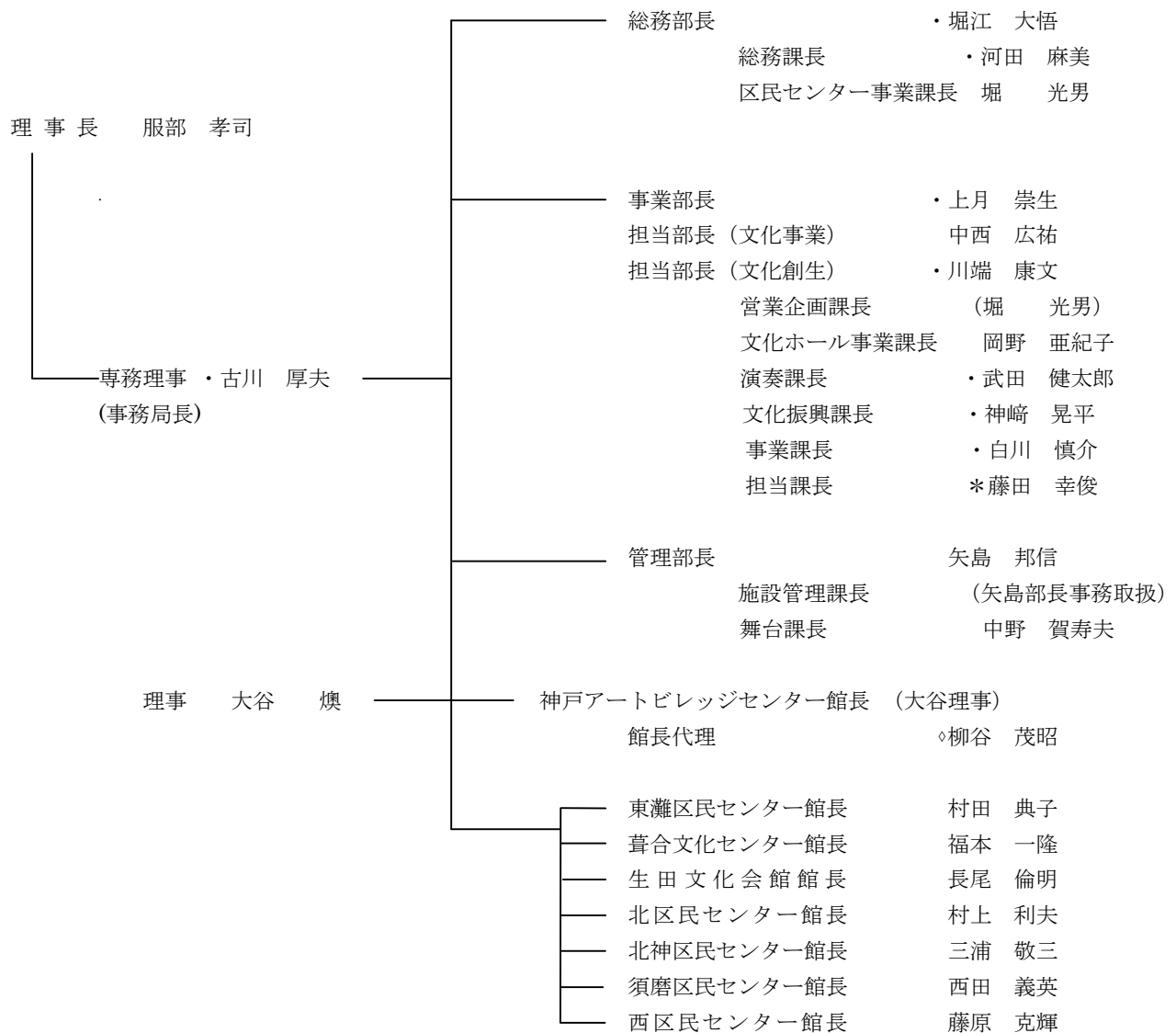
I	神戸市民文化振興財団設立の趣旨	1
II	神戸市民文化振興財団の概要	
1	名 称	2
2	設 立 年 月 日	2
3	所 在 地	2
4	基 本 財 産	2
5	機 構	2
6	職 員 数	3
7	役 員 等	4
III	定 款	5
IV	平成 30 年度事業報告	
1	概 要	11
2	事業の実施状況	12
3	平成 30 年度決算	36
V	令和元年度事業計画	
1	概 要	43
2	事 業 計 画	44
3	経営改善の取り組み	56
4	令和元年度予算	57
VI	平成 30 年度主要事業計画・実績比較表	62
VII	主要事業の推移(平成 28 年度～平成 30 年度)	63

I 神戸市民文化振興財団設立の趣旨

心の豊かさを内包した生活の質向上を求めようとする市民の幅広い多様な文化的欲求に対応し、神戸文化を育て、自由な発想にもとづく文化活動の豊かな展開をすすめるため、神戸市民文化振興財団を設立したものである。

II 神戸市民文化振興財団の概要

1	名 称	公益財団法人 神戸市民文化振興財団
2	設 立 年 月 日	設立許可 昭和 57 年 10 月 1 日 設立登記 昭和 57 年 10 月 1 日 公益財団法人移行登記 平成 24 年 4 月 1 日
3	所 在 地	神戸市中央区楠町 4 丁目 2 番 2 号
4	基 本 財 産	216,910 千円（神戸市出捐 100,000 千円 46.1%）
5	機 構	



(注) ・は神戸市派遣職員、*は神戸市再任用職員、◇は神戸市嘱託職員

6 職員数

(令和元年7月1日現在)

所 属	理事長	専務理事 事務局長	部 長 ・ 館 長	課 長	係 員	計
総 務 部	1	1 (1)	1 (1)	2 (1)	8	13 (3)
事 業 部			3 (2)	5 (4)	16 (1)	24 (7)
管 理 部			1	1	7	9
神戸アート ビレッジ センター			1		9	10
東 灘 区 民 セ ン タ ー			1		2	3
葺 合 文 化 セ ン タ ー			1		4	5
生 田 文 化 会 館			1		3	4
北 区 民 セ ン タ ー			1		4	5
北 神 区 民 セ ン タ ー			1		3	4
須 磨 区 民 セ ン タ ー			1		3	4
西 区 民 セ ン タ ー			1		3	4
合 計	1	1 (1)	13 (3)	8 (5)	62 (1)	85 (10)

※ () は、人数のうち、神戸市派遣職員数

7 役員等

(1) 評議員

(令和元年7月1日現在)

役職名	氏名	所属
評議員	井上和世	声楽家
評議員	岡田健二	神戸市市民参画推進局長
評議員	加藤隆久	神戸芸術文化会議議長
評議員	佐藤友美子	追手門学院大学地域創造学部地域創造学科教授
評議員	玉岡かおる	作家
評議員	玉田はる代	神戸市婦人団体協議会会長
評議員	中尾一彦	一般社団法人神戸経済同友会代表幹事
評議員	伊藤綱太郎	日本放送協会神戸放送局長
評議員	水越浩士	神戸製鋼所顧問
評議員	矢崎和彦	株式会社フェリシモ代表取締役社長
評議員	山本裕之	神戸親和女子大学教授

(2) 理事・監事

役職名	氏名	所属
理事長	服部孝司	
専務理事	古川厚夫	(神戸市市民参画推進局 担当局長)
理事	伊藤紀美子	田嶋株式会社代表取締役社長
理事	植松奎二	彫刻家
理事	大谷 燠	特定非営利活動法人DANCE BOX代表
理事	木田聖子	株式会社チャイルドハート代表取締役社長
理事	道満雅彦	オリバーソース株式会社代表取締役社長
理事	西田真人	日本画家
理事	藤野一夫	神戸大学大学院国際文化科学研究科教授
理事	宮本慶子	兵庫県音楽活動推進会議代表
理事	山本亮三	公益財団法人兵庫県芸術文化協会理事長
監事	清水好央	税理士
監事	中嶋展也	弁護士

Ⅲ 定款

公益財団法人神戸市民文化振興財団定款

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人神戸市民文化振興財団と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を兵庫県神戸市に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、神戸市民の文化活動の振興に資する事業を行い、もって個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 市民の生活文化活動及び芸術文化活動の振興
- (2) 市民の国際文化交流の促進
- (3) 市民文化の振興に係る情報の収集及び提供
- (4) 文化施設の管理運営
- (5) 神戸市室内管弦楽団及び神戸市混声合唱団の運営
- (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業

2 前項各号の事業は、兵庫県において行うものとする。

第3章 資産及び会計

(基本財産)

第5条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な別表の財産は、この法人の基本財産とする。

2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

(事業年度)

第6条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第7条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長(第21条に規定する理事長をいう。以下同じ。)が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第8条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 正味財産増減計算書
- (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書
- (6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第9条 理事長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則（平成19年内閣府令第68号）第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする

第4章 評議員

(評議員の定数)

第10条 この法人に評議員8名以上12名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第11条 評議員の選任及び解任は、評議員選定委員会（以下「委員会」という。）において行う。

2 委員会は、評議員1名、監事1名、事務局員1名、次項の定めに基づいて選任された外部委員2名の合計5名で構成する。

3 委員会の外部委員は、次のいずれにも該当しない者を理事会において選任する。

- (1) この法人又は関連団体（主要な取引先及び重要な利害関係を有する団体を含む。以下同じ。）の業務を執行する者又は使用人
- (2) 過去に前号に規定する者となったことがある者
- (3) 第1号又は前号に該当する者の配偶者、3親等内の親族、使用人（過去に使用人となった者も含む。）

4 委員会に提出する評議員候補者は、理事会又は評議員会がそれぞれ推薦することができる。委員会の運営についての細則は、理事会において定める。

5 委員会に評議員候補者を推薦する場合には、次の事項のほか、当該候補者を評議員として適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。

- (1) 当該候補者の経歴
- (2) 当該候補者を候補者とした理由
- (3) 当該候補者とこの法人及び役員等（理事、監事及び評議員）との関係
- (4) 当該候補者の兼職状況

6 委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の1名以上が出席し、かつ、外部委員の1名以上が賛成することを要する。

7 委員会は、前条で定める評議員の定数を欠くこととなるときに備えて、補欠の評議員を選任することができる。

8 前項の場合には、委員会は、次の事項も併せて決定しなければならない。

- (1) 当該候補者が補欠の評議員である旨
- (2) 当該候補者を1名又は2名以上の特定の評議員の補欠の評議員として選任するときは、その旨及び当該特定の評議員の氏名
- (3) 同一の評議員（2名以上の評議員の補欠として選任した場合にあっては、当該2名以上の評議員）につき2名以上の補欠の評議員を選任するときは、当該補欠の評議員相互間の優先順位

9 第7項の補欠の評議員の選任に係る決議は、当該決議後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで、その効力を有する。

(評議員の任期)

第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第13条 評議員に対して、各年度の総額が100万円を越えない範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 評議員には、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。この場合の支給基準については、評議員会の決議を経て、別に定める。

第5章 評議員会

(構成)

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第15条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任及び解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第16条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第17条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(議長)

第18条 評議員会の議長は、評議員会において、出席した評議員の中から選出する。

(決議)

第19条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第21条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第20条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び出席した評議員のうち評議員会において選出された2名が、前項の議事録に記名押印する。

第6章 役員

(役員の設定)

第21条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 8名以上12名以内
 - (2) 監事 2名以内
- 2 理事のうち1名を理事長とする。
 - 3 理事長以外の理事のうち、1名を専務理事及び2名以内を常務理事とすることができる。
 - 4 第2項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成18年法律第48号。以下「一般法人法」という。)上の代表理事とし、前項の専務理事及び常務理事をもって一般法人法第197条において準用する一般法人法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第22条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、専務理事及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 3 理事長、専務理事及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第24条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

- 2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第26条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第27条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

- 2 理事及び監事に対して、その職務を執行するために要する費用を弁償することがで

きる。この場合の支給基準については、評議員会の決議を経て、別に定める。

(顧問)

第28条 この法人に、顧問を置くことができる。

2 顧問は、次の職務を行う。

(1) 理事長の相談に応じること

(2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること

3 顧問の選任及び解任は、理事会において決議する。

4 顧問は、無報酬とする。ただし、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。

第7章 理事会

(構成)

第29条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第30条 理事会は、次の職務を行う。

(1) この法人の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 理事長、専務理事及び常務理事の選定及び解職

(招集)

第31条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第32条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般法人法第197条において準用する一般法人法第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第33条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第34条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条、第4条及び第11条についても適用する。

(解散)

第35条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第36条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、評議員会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（平成18年法律第49号。以下「認定法」という。）第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第37条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第38条 この法人の公告は、電子公告により行う。

- 2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法による。

附 則

1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号。以下「整備法」という。）第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

2 整備法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

3 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

石 阪 春 生
井 上 和 世
大 谷 幸 正
加 藤 隆 久
下 村 俊 子
妹 尾 美 智 子
津 村 正 男
長 崎 泰 裕
新 野 幸 次 郎
板 東 慧
湯 浅 叡 子

4 この法人の設立の登記の日に就任する理事は、次に掲げる者とする。

辻 村 博 邦
山 上 正 輝
榊 原 均
植 松 奎 二
栗 原 慶 子
藤 野 一 夫
難 波 裕 子
山 田 弘

5 この法人の最初の理事長は 辻村 博邦、専務理事は 山上 正輝、常務理事は 榊原均とする。

6 この法人の設立の登記の日に就任する監事は、次に掲げる者とする。

清 水 好 央
水 嶋 輝 雄

附 則

1 この定款は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

1 この定款は、平成30年4月1日から施行する。

別表 基本財産（第5条関係）

財産種別	物量等
投資有価証券等	216,910,000 円

IV 平成30年度事業報告

1 概 要

平成30年度は、神戸国際フルートコンクールの優勝者によるリサイタルや市民オペラ、CLASSIC PLUSなど、音楽の魅力を一体的に力強く発信する「KOBE ミュージックポート～冬の音楽祭～」の開催や、地元経済界を中心に神戸の芸術文化に対する活動の援助を行う「神戸文化マザーポートクラブ」の立ち上げ等、市民や経済界等との幅広い連携を行い、活動に臨んだ年度であった。

そのなかにおいて、当財団は事業環境にも大きな変化があったが、主要事業である文化振興事業、演奏事業、神戸文化ホール事業、神戸アートビレッジセンター事業、区民センター事業の各事業について、着実に取り組みを進めた。

(1) 神戸市室内管弦楽団として新たな活動を展開

平成30年度よりホルン・オーボエ奏者を加えることで、演奏できる曲目の増加やアンサンブル能力の向上を図るとともに、楽団名を神戸市室内合奏団から「神戸市室内管弦楽団」に改めた。

また、多くの市民から親しまれ、「私たちの楽団」として市民が誇れる楽団を目指して、神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団はインリーチやアウトリーチ、まちなかコンサートを開催し、両楽団の周知・魅力発信につなげた。

(2) 「KOBE ミュージックポート～冬の音楽祭～」の開催

「第9回神戸国際フルートコンクール」の優勝者リサイタルやオーディションで選出された市民を中心として作り上げる市民オペラ「オペラ de 神戸」、神戸ゆかりの音楽家を招聘し、ファッション、スイーツなどとコラボレーションさせクラシック音楽の普及を図る「CLASSIC PLUS」など、さまざまな音楽事業を連携させた冬の一大イベント「KOBE ミュージックポート～冬の音楽祭～」を開催し、神戸の街の活性化を図った。

(3) 地元経済界とともに実現する神戸文化の創造発信

神戸の文化を地元経済界とともに盛り上げ、発信していくため、地元経済界を中心として構成する「神戸文化マザーポートクラブ」の立ち上げに協力し、神戸出身のアーティストなどによる演奏会や市民オペラなど、神戸らしい芸術文化事業への支援などにより神戸文化の創造発信につなげた。

(4) 「ART LEAP 2018」の開催

ヴェネチア・ビエンナーレ日本館コミッショナーや横浜トリエンナーレでアーティストック・ディレクターなどを歴任された建畠哲氏を審査員に、中堅作家を対象にした公募企画展覧会を実施し、中堅作家の作品創作及び発表の機会を創出した。

選出された「tuQmo」(ツクモ)は、彫刻家池田精堂とポールダンサーERIKA RELAXによる新ユニットで、「道具とサーカス」というテーマで展示及びパフォーマンスを行った。

2 事業の実施状況

公益目的事業

1 文化振興事業

(1) 事業方針

- ① 市民文化の向上に資する質の高い鑑賞型事業の提供
- ② 芸術文化による神戸ブランドの創造発信
- ③ 市民参加型芸術文化事業の充実
- ④ 地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援
- ⑤ 情報収集・提供の充実（多様な芸術文化の紹介）
- ⑥ 芸術文化を担う人材の育成

(2) 事業内容

①市民の文化の向上に資する質の高い鑑賞型事業の提供

市民に感動を与え、感性や創造性を育む質の高い芸術文化の鑑賞機会として、国内外で活躍する音楽家集団「アンサンブル・ラロ」による室内楽コンサート「ウィーンの情熱」を開催した。また、「第9回神戸国際フルートコンクール」優勝者などによる市内小学校でのアウトリーチプログラムを実施し、子どもたちがアーティストとの交流を通じ、質の高い芸術に触れる機会を創出。加えて病院などにおいてもプロのアーティストによるプログラムを実施することにより、ホールに来ることが困難な人に対する鑑賞機会の提供を図った。

②芸術文化による神戸ブランドの創造発信

「オペラ de 神戸」などの個性豊かな芸術文化事業を通じて神戸ブランドの創造発信を行うとともに、「ジャズの街神戸」推進協議会の事業では、中学・高校生による「神戸ユースジャズオーケストラ」の活動を推進し、ラジオ番組「KOBE JAZZ-PHONIC RADIO」の放送や、「KOBE JAZZ DAY 2018」を開催した。

また、令和元年秋に世界的に活躍する現代アートの作家2人（グレゴール・シュナイダー、やなぎみわ）を招聘して行う展覧会「アート・プロジェクト KOBE 2019 : TRANS-」（以下「TRANS-KOBE」という。）において準備を進めた。

③市民参加型芸術文化事業の充実

公演などの鑑賞だけでなく、市民が芸術文化活動を発表する機会や場を創出するため、「フルート500人アンサンブル」、「60歳からのデビュー・あなたにシャンソンを」などの市民参加型事業を展開した。

また、「TRANS-KOBE」開催に伴い、地元集うアーティストやクリエイターと連携し、アートを楽しむきっかけとなる機会を提供するため、市民や来場者が参加できるパブリックプログラムを公募し、6件のプログラムを選定した。

④地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援

神戸文化の基盤となっている地元芸術文化団体の活動を支援するとともに、協力関係の強化を図った。また、「神戸市吹奏楽祭」、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」などを通じて、今後の神戸文化の担い手となる若手人材の育成を支援した。

⑤ 情報収集・提供の充実

多種多様な芸術文化活動を広く紹介するため「KOBE C 情報」を発行するとともに、インターネット（ホームページ、SNS）などの手法を用いて積極的な情報収集・発信を行った。

⑥ 芸術文化を担う人材の育成

各種事業を通じて、アートマネジメント能力の深化や向上を図るとともに、市民及び学生のボランティアスタッフを活用するなど「担い手」の養成・機会確保に努めた。

(3) 事業実績

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

	事業名	日付 (公演日)	会場 (施設名)	入場者数 (参加者数)
音楽	「ジャズの街神戸」発信事業	4月～3月	市内各所	13,774
	全日本シャンソンポピュラーコンクール	4/27, 5/12, 5/17, 6/2	仙台・神戸・名古屋・福岡・東京	1,377
	神戸市吹奏楽祭	4/29, 5/19, 11/3	神戸文化ホール	5,514
	オペラde神戸(関連事業含む)	5月～3月	神戸文化ホール 他	3,756
	KOBE MUSIC STEAGまちなか・駅ナカコンサート	6月～3月	神戸市内	3,550
	神戸三曲協会演奏会	6/10, 3/17	神戸文化ホール	549
	母親コーラスの育成	6/13, 12/6, 12/7	神戸市医師会館	1,481
	神戸フィルハーモニックの支援	4月～3月	神戸文化ホール	2,106
	ボンジュールフランスVol.24	7月1日	うはらホール	286
	第9回神戸国際フルートコンクール優勝者等コンサート(関連事業を含む)	7/3, 7/10, 7/11, 7/13, 2/20, 2/21,	神戸文化ホール 他	3,365
	60歳からのデビュー	7月17・18日	あじさいホール	371
	JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL	8月17～19日	神戸文化ホール	4,388
	冬の音楽祭(関連事業含む)	9/8, 2/2	神戸市内	2,936
	舞コンサート	9/8, 11/11, 1/13	あじさいホール	321
	神戸ジャズストリート	10月6日, 7日	北野界限9会場	3,300
	ウィーンの情熱(関連事業含む)	10月19日, 11月10日	うはらホール	605
第26回神戸からのしらべ	10月21日	神戸文化ホール	283	
演劇・舞踊	第31回こうべ全国洋舞コンクール	5月3日～6日	神戸文化ホール	3,368
	神劇まわり舞台	7月～3月	なでしこホール 他	960
	さわってみよう能の世界	3月24日	湊川神社神能殿	95
その他	医療+アート	5月～3月	神戸医療産業都市内	1,535
合 計				53,920

2 演奏事業（神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団）

（1）事業方針

- ①神戸文化ホールおよび区民ホール等における質の高い演奏の提供
- ②演奏水準のさらなる向上
- ③広報強化・アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ④自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

（2）事業内容

①神戸市室内管弦楽団

国内外で活躍する指揮者・ソリストをゲストとして招聘し、演奏会の充実を図った。特に、定期演奏会では「新しい音楽への希求、3つの世紀それぞれの場合」をシーズンテーマに、鈴木秀美、イエルーン・ベルワルツといった魅力的なゲストとともに公演した。

また、「CLASSIC PLUS」では、指揮者に鈴木優人、ソリストに瀧村依里といった神戸ゆかりの演奏者を招聘し、神戸タータンやスイーツとコラボレーションした特別演奏会を開催するとともに、音楽評論家による公開講座や指揮者・ソリスト・コンサートマスターによる高校へのアウトリーチなどを実施した。

②神戸市混声合唱団

秋の定期演奏会では、指揮に佐藤正浩を迎え、G. ロッシーニの小壮厳ミサを2台のピアノとハルモニウムでお贈りした。春の定期演奏会では、新しいレパートリーの確立、合唱技術の向上のため、世界的な合唱指揮者トヌ・カリユステを招聘し、エストニアにおけるロマン派から現代までの曲をアカペラで演奏した。

③両団周知の取り組み

大阪城ホールでの「サントリー1万人の第九」をはじめ、奈良県文化会館国際ホールや赤穂市文化会館など他都市での公演に出演し、新たな依頼公演につなげた。また、イオンモール神戸北やIKEA神戸など多くの方が集まる施設でのアウトリーチを行い、両団の魅力発信に努めた。

項目	自主公演 (講座等含む)	依頼公演	合計
公演数	57公演	83公演	140公演
入場者数	13,642人	37,414人	51,056人

(3) 事業実績

【自主公演】

平成30年4月1日～平成31年3月31日

事業名		日付 (公演日)	会場 (施設名)	入場者数 (参加者数)
神戸市室内管弦楽団	定期演奏会	6月9日	神戸文化ホール	462
		9月22日	神戸新聞松方ホール	302
		12月1日	神戸文化ホール	406
		3月24日	神戸文化ホール	448
	東京公演	3月22日	紀尾井ホール	385
	セレナーデ星空コンサート	7月28日	あじさいホール	151
	あなたに贈るコンサート	5/26,5/27, 8/25,2/2 2/3	すずらんホール 他	1,356
	海のコンサート	11/16,12/14	あじさいホール	298
	わがまちコンサート ピフレ	4/20,10/12,1/6	ピフレホール	807
	CLASSIC PLUS 特別演奏会	2月16日	神戸文化ホール	525
	CLASSIC PLUS アウトリーチ	12/24,2/4,2/5	市内の中学・高校 他	385
	CLASSIC PLUS 公開講座	12/2, 1/13	東灘区民センター 他	80
神戸市混声合唱団	定期演奏会	9月16日	神戸文化ホール	436
		3月10日	神戸文化ホール	391
	定期演奏会セミナー	2/14,2/24, 2/28	東灘区民センター 他	135
	あなたに贈るコンサート	6/24,9/30,11/18,1/27	ありまホール 他	1,245
	海のコンサート	4/13,5/11,7/20 10/19,2/15	あじさいホール	1,358
	わがまちコンサート ピフレ	6/8,8/10,12/7	ピフレホール	1,098
	クリスマスチャリティーコンサート	12月13日	青山ルーテル教会	106
合同	室内・混声合同定期演奏会	10月28日	神戸文化ホール	330
	神戸市会議事堂コンサート	6月11日	神戸市会本会議場	100
	1.17 祈りのコンサート	1月17日	神戸文化ホール	691
	夏休みこどもコンサート	8月22日	イオンモール神戸北	100
	神戸文化ホールアウトリーチ	1/10,1/18,1/22,1/24, 1/25,1/28,1/29,2/8, 3/7, 3/8	市内各小学校 他	953
	神戸文化ホールインリーチ	2月19日	神戸文化ホール	1,094
合計				13,642

【依頼公演】

	公演数	入場者数
神戸市室内管弦楽団	17	7,146
神戸市混声合唱団	55	28,563
合同	11	1,705
合計		37,414

3 神戸文化ホール公演事業

(1) 事業方針

- ①文化ホールを拠点とした芸術創造・発信事業の積極的な展開
- ②優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供及び鑑賞教室や解説セミナーなどの実施
- ③財団のネットワークを活用した市民・芸術家・文化団体などとの交流及び連携事業の実施

(2) 事業内容

①芸術創造・発信事業

神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団による定期的な公演を実施し、財団の特徴ともいえる音楽事業の充実に努めた。

また、若手落語家と組んだ大倉亭では新しく誕生した喜楽館のPRに務め、神戸能楽協会と組んだ神戸能では新しい観客の開拓に取り組むことによって、市内における伝統芸能や古典芸能の発展の一翼を担った。

②教育普及・育成事業

毎年取り組んでいる能、狂言、歌舞伎の鑑賞教室や解説セミナー、また市内の小学6年生を招待する劇団四季「こころの劇場」に加えて、新たな事業としてサマージャンボリーを立ち上げた。この事業は、ホールを“広場”に見立て、幅広い世代が気軽に来館し、アートに親しみ交流することを目的として開催し、多くの家族連れに来場していただくことができた。

また欧州唯一の日本人芸術監督として活躍する舞踊家 森優貴によるアウトリーチ事業を実施し、教育普及事業の対象を高校生にも広げた。

③鑑賞・学習事業

恒例の「東西落語名人選」や「松竹大歌舞伎（座頭 片岡愛之助／義経千本桜）」に取り組むとともに、新たな観客層の開拓を目指して精巧大型人形劇「三国志」やホール史上初の舞踏公演 大駱駝艦・天賦典式「パラダイス」など、演劇やダンス部門で新しい事業に積極的に取り組んだ。

また映画事業「文化ホールキネマ」でも“文化ホールならではの”の作品選びや他事業との連携などを心掛け、企画性を高めた。

(3) 事業実績

〈事業別〉

	事業数	公演数	入場者数
芸術創造・発信事業	16(4)	24(5)	6,151
教育普及・育成事業	11	23	21,188
鑑賞・学習事業	17(2)	24(9)	12,779
合計	44(6)	71(14)	40,118

※ 尚、大ホールの天井及び壁面の修復工事に伴う休館により、芸術創造・発信事業の内4事業5公演、鑑賞・学習事業の内2事業9公演は中止もしくは他会場での開催となり文化ホールでは実施出来ず。

〈部門別〉

	事業数	公演数	入場者数	備 考
音 楽	18(5)	19(12)	10,535	クラシック15 ジャズ1 ポピュラー4 邦楽3
舞 踊	2(1)	2(2)	2,294	バレエ2 舞踏1
演 劇	4	12	17,104	能1 歌舞伎1 ミュージカル1、人形劇1
演 芸	12	26	6,405	落語8 映画4
その他	8	12	3,780	セミナー4(能3、舞踏1) ワークショップ2(歌舞伎1、狂言1) アウトリーチ1(ダンス1)、フェスティバル1
合 計	44(6)	71(14)	40,118	

※ 尚、大ホール天井及び壁面の修復工事に伴う休館により、音楽部門の内5事業12公演、舞踊部門の内1事業2公演は中止もしくは他会場での開催となり文化ホールでは実施出来ず。

平成30年4月1日～平成31年3月31日

事業名	日付 (公演日)	会 場 (施設名)	入場者数 (参加者数)
神戸文化ホールロビーコンサートシリーズvol.20 二胡×ソプラノサクソ×ピアノ 異色トリオコンサート	4月13日	大ホールロビー	142
青春落語道場『大倉亭』【春の席】	5月17日	大ホールロビー	360
神戸市室内管弦楽団 第144回定期演奏会	6月9日	中ホール	462
青春落語道場『大倉亭』【夏の席】 (4周年特別記念公演)	7月3日	大ホールロビー	388
神戸文化ホールロビーコンサートシリーズ Vol.21 尺八×箏 スペシャルコンサート	7月12日	中ホール	139
神戸市混声合唱団 秋の定期演奏会	9月16日	中ホール	448
青春落語道場『大倉亭』【秋の席】	10月12日	大ホールロビー	321
和太鼓松村組 神戸公演「郷天の空」	10月27日	中止	-
神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団 合同定期演奏会「北の響き」	10月28日	中ホール	330
神戸市室内管弦楽団 第145回定期演奏会	12月1日	中ホール	401
市民の第九2018	12月8日	加古川市民会館 ※	-
貞松・浜田バレエ団クリスマス特別公演 「くるみ割り人形」全幕	12月22・23日	あましんアルカイックホール※	-
青春落語道場 大倉亭 新春寄席	1月5日	中ホール	448
1.17 祈りのコンサート 2019	1月17日	中ホール	691
PRAY FROM KOBE～明日へつなげるコンサート～	1月27日	ハーバーランドス ペースシアター※	-
青春落語道場『大倉亭』【冬の席】	2月7日	大ホールロビー	251
クラシック・プラス Vol.2 特別演奏会	2月16日	中ホール	525
神戸市混声合唱団 春の定期演奏会	3月10日	中ホール	385
第十一回神戸能	3月21日	中ホール	415
神戸市室内管弦楽団 第146回定期演奏会	3月24日	中ホール	445
合計			6,151

事業名		日付 (公演日)	会場 (施設名)	入場者数 (参加者数)
教育普及・ 育成事業	KOBE☆ファミリーコンサート KO-Best of kobe! こうべ、ここがいいね!	4月7日	大ホール	1,858
	平成三十年度歌舞伎鑑賞教室「連獅子」	6月22日	大ホール	2,225
	能・狂言体験講座	8月2・3日	練習室	35
	森優貴アウトリーチ	8月17・18日	県立須磨東高等学校 神戸野田高等学校	73
	神戸文化ホール サマージャンボリー2018 ようこそ コブホの森へ!	8月20・21日	全館	1,300
	2018 オカリナフェスティバル in 神戸	8月25・26日	中ホール	1,560
	劇団四季 こころの劇場「魔法を捨てたマジヨリン」	10月16～19日	大ホール	13,990
	大駱駝艦・天賦典式「パラダイス」公演 関連企画 鷹 赤児 大駱駝艦とパラダイスを語る	1月29日	多目的室	39
	第十一回神戸能プレイベント 神戸能解説セミナー	2月11日	須磨区民センター	13
	第十一回神戸能プレイベント 神戸能解説セミナー	2月14日	大ホールロビー	48
	第十一回神戸能プレイベント 神戸能解説セミナー	2月28日	西区民センター	47
	合計			
鑑賞型 事業	桂文珍独演会 JAPAN TOUR～一期一笑～	4月21日	中ホール	1,231
	神戸文化ホールキネマ オペラ映画 「カヴァレリアルスティカーナ／道化師」	5月16日	中ホール	251
	大野雄二&ルパンティック・シックス ルパンジャズライブ	6月15日	中ホール	679
	神尾真由子&佐藤卓史 デュオ・リサイタル	6月28日	中ホール	438
	キエフ・クラシック・バレエ チャイコフスキー 夢の3大バレエ名場面集	8月12日	大ホール	1,541
	神戸文化ホールキネマ サマージャンボリー 「きかんしゃトーマス」「ミッフィー」	8月21日	中ホール	196
	対談コンサート～モーツァルト、旅、そして神戸～	8月23日	中ホール	445
	ベンチャーズ ジャパンツアー2018	8月31日	中ホール	678
	平成三十年度 松竹大歌舞伎	9月21日	大ホール	2,238
	第44回東西落語名人選	9月23日	中ホール	1,688
	精巧大型人形劇 三国志 総集編	11月11日	中ホール	461
	ろうきんコンサート2018	11月19日	中ホール	213
	しまじろうコンサート 「サンタのくじのクリスマスキャンドル」	11月23・24日	中止	-
	神戸文化ホールキネマ オペラ映画「ラ・ボエーム」	12月5日	中ホール	118
	親子のためのオーケストラ ブーランシアンフィルハーモニー管弦楽団	12月15日	中止	-
	ウィーン・サロン・オーケストラ ニューイヤーコンサート2019	1月6日	中ホール	696
	神戸文化ホールキネマ 「焼肉ドラゴン」	2月20日	中ホール	309
	桂米朝一門会	3月16日	中ホール	844
	大駱駝艦・天賦典式「パラダイス」	3月30日	中ホール	753
	合計			

4 神戸文化ホール貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ①弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ②施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ③文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ④基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

(2) 事業内容

①弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

年中無休、早朝仕込み・深夜撤収など、利用者ニーズに応じた弾力的な運用を継続実施した。

また、体制を強化した舞台スタッフによる専門性の高い舞台表現に対するアドバイスと舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営で利用者をサポートした。

②施設利用者、来館者のご意見を反映したホール運営

利用後のアンケート調査や「お客様の声 BOX」でお寄せいただいたご意見・ご要望を基に、ホール運営全般の改善に努めた。具体的には、オペレーターを増員して、チケット電話予約への迅速な対応を行った。

③文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援

抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続して実施した。

また、若手芸術家の発表及び交流の場としての大ホールのロビー活用を継続した。

④基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

ホール全般にわたる日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努め、市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行うとともに、屋上防水工事の実施やトイレ改修に向けた準備など老朽化した施設・設備の改修に取り組んだ。

また、平成 30 年 10 月 21 日に大ホール 2 階の観客席天井部分の化粧板の一部が落下する事故が発生した。怪我人などはなかったものの、その後の調査で大ホールの壁面部分においても剥離の可能性が示唆されたため、一体的な改修工事を実施した。平成 31 年 1 月 31 日までの休館を余儀なくされたが、この間におけるお客様の安全管理や、貸館の代替対応など市と連携し、職員一丸となって対応に努めた。

(3) 貸館・管理事業実績

		大ホール	中ホール	練習場	合計
利用件数(件)		201	252	3,405	3,858
入場者数(人)		249,513	134,534	59,726	443,773
利用率 (%)	踏入率	87.1	92.7	89.9	
	実利用率	77.4	84.3	80.9	

(※収益事業による利用を含む)

①神戸文化ホール利用状況表（自主事業を含む）

※収益事業を含む

平成30年4月1日～平成31年3月31日

部門		大ホール		中ホール		合計	
		利用件数(件)	入場者数(人)	利用件数(件)	入場者数(人)	利用件数(件)	入場者数(人)
音楽	クラシック	44	53,845	73	40,217	117	94,062
	ポピュラー	12	18,379	21	12,279	33	30,658
	邦楽	1	139	4	2,376	5	2,515
	小計	57	72,363	98	54,872	155	127,235
舞踊	舞踊等	28	39,389	37	22,668	65	62,057
演劇	演劇	28	6,188	18	9,695	23	15,883
	音楽劇	5	32,412	4	2,098	20	34,510
	小計	33	38,600	22	11,793	43	50,393
演芸等	演芸・映画	19	12,122	23	8,692	42	20,814
大会行事等	大会・式典	16	12,846	27	12,526	43	25,372
	講演会・講習会	60	74,193	45	23,983	105	98,176
	小計	76	87,039	72	36,509	148	123,548
その他		0	0	0	0	0	0
合計		213	249,513	252	134,534	453	384,047
利用率(%)		87.1		92.7		89.9	
前年度利用率(%)		94.4		94.2		94.3	

注) 利用率は、「利用日数／利用可能日数」(大ホール 183／210 中ホール 279／301)

②神戸文化ホール練習場利用状況表

平成30年4月1日～平成31年3月31日

	合計
利用件数(件)	3,405
利用者数(人)	59,726
利用率(%)	95.5
前年度利用率(%)	97.0

5 神戸アートビレッジセンター (KAVC) 事業

(1) 事業方針

- ①先進的・実験性のある事業の実施
- ②アートの世界への入り口となるワークショップや講座の実施
- ③市内外の文化施設や教育機関などとの交流・連携
- ④まちの賑わい及び活性化への寄与

(2) 事業内容

①演劇・舞踊事業

今まで KAVC に来ていなかったアーティストを呼び込もうと、KAVC 全館を使ってアーティストがやりたい企画を実現する「KAVC ART JACK 2018」を開催。2日間で延べ 2,500 人が演劇・ダンス・美術・インスタレーションなどを楽しんだ。また（一財）地域創造と共催で行う現代ダンス活性化事業では、参加者を公募しアーティストとともに新開地商店街を練り歩いた後にホールで公演する「カブキモノ大行列」を行った。

②美術事業

30 歳代・40 歳代の中堅作家を対象にした公募プログラム「ART LEAP 2018」を開催したほか、シルクスクリーン技法本「### (メッシュ)」vol.4、vol.5 を発行し、シリーズが完結した。シルクスクリーンのワークショップは KAVC 以外にも芦屋市立美術館、東急ハンズ心齋橋店など外部においても行った。

③映像事業

KAVC CINEMA として、毎月映画の上映を行った。商業的なシネマコンプレックスでは取扱いの少ないドキュメンタリー作品や、演劇や音楽などアートを題材にした作品を主に選択して通常番組を編成した。また、特集では 80 年代映画や喜劇映画など、テーマを基に昔のフィルム作品も積極的に上映した。また、新開地・元町の単館映画館 4 館と連携して CINEMA PORT フェスを開催した。

④音楽・地域事業

夏に例年開催している KAVC 1F の大きな窓ガラスに絵を描く「でっかあーい窓ガラスにみんなで大きな絵を描こう!!・消そう!!」や、干支のイノシシの生態について学ぶ「ボクはイノシシ」、節分の鬼のお面をつくる「色とりどりの鬼のお面を作ろう!」など、子ども向けのプログラムの充実を図った。

(3) 神戸アートビレッジセンター事業実績

〈事業別〉

	事業数	公演数	入場者数
演劇・舞踊事業	25	166	8,204
美術事業	18	159	2,677
映像事業	23	501	5,521
音楽・地域事業	20	59	7,965
合計	86	885	24,367

(3) 事業実績

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

事業名		日付	会場 (施設名)	入場者数 (参加者数)
演劇・舞踊事業	森田雄三解体シンポ Part1	4月28日	KAVCホール	63
	Yaa Samar! Dance Theatre WS	4月29日、30日	リハーサル室	21
	劇団赤鬼 出演者探しのWS	5月10日～12日	リハーサル室	49
	リバウンド	5月18日～20日	KAVCホール	634
	安住の地「してない方のこちらから」	6月2日～3日	ギャラリー	99
	劇団赤鬼×KAVC “20&10”	6月15日～17日	KAVCホール	911
	GERO「家族という名のゲーム」	7月6日、7日	KAVCホール	73
	G-フォレスト「乱歩の嘘」	7月13日～15日	KAVCホール	515
	演劇人Play & Session vol.1 (福谷&穴迫)	8月11日	リハーサル室・1room	28
	Go! Go! High School Project2018(参加) ※参加者数	8月13日～26日	KAVCホール他	45
	Go! Go! High School Project2018(公演鑑賞)	8月25日、26日	KAVCホール	608
	ダンスの天地vol.01 ダンスの自明性を問ふ。	9月2日	KAVCシアター	150
	KAVCアートジャック2018	9月15日、16日	KAVC全館	2,428
	ダンス活性化事業「新開地カブキモノ大行列」WS	9月22日	リハーサル室2	15
	市田京美ダンスワークショップ ～ピナを巡って2018～	10月6日～8日	リハーサル室	47
	大川興業 暗闇演劇「イヤホン」	10月12日、13日	KAVCホール	233
	大川豊総裁 トークライブ「お笑い現場の歩き方」	10月14日	KAVCホール	69
	暗闇演劇ワークショップ	10月14日	KAVCホール	16
	森田雄三 解体シンポ Part2	10月27日	KAVCホール	90
	KAVC演劇人 Play & Session vol.2	11月11日	リハーサル室、1room	44
	新開地カブキモノ大興行	11月25日	KAVCホール、新開地商店街	209
	劇団SE・TSU・NA「SANTA×CROSS」	11月30日～12月2日	KAVCシアター	487
	Fの階WS「劇場で台詞を読む／聴く」	1月5日、6日	KAVCシアター	52
	ジュリア・イーストランド ワークショップ in KOBE	2月15日～17日	リハーサル室	42
	エクステ#5「STRAWBERRY MOON」	3月21日～24日	KAVCホール	985
Fの階「なにごともしなかつたかのように再び始まるまで」	3月22日～25日	KAVCシアター	291	
合計(25事業166公演)				8,204
事業名		日付	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
美術事業	ART LEAP公開プレゼンテーション	5月19日	ギャラリー	29
	シルクスクリーンWS in あしやつくる場	5月20日	芦屋市立博物館	27
	土曜マルシェ シルクスクリーン体験出店	6/9、7/14、10/13、11/10	1room	11
	アーティストサポートプログラム(5月)	6月14日	アトリエKAVC	1
	夏まつりシルクスクリーン体験出店	8月4日、5日	新開地商店街	103
	はじまりのみかたvol.1「鉛筆を削ることからはじめよう」	10月28日	KAVCギャラリー	10
	カタチプリント「顔ハンカチをつくろう」	11月9日、18日	アトリエKAVC	19
	カタチプリント「顔ハンカチをつくろう」WS成果作品展	11月19日～25日	KAVCギャラリー	185
	みんなの学び場「日本画をモノマネする」	12月15日	スタジオ1.3	11
	ART LEAP 2018 関連企画「展覧会をつくる仕事」	1月26日	1room	45

美術事業	ART LEAP 2018 「道具とサーカス」展覧会	2月23日～3月17日	ギャラリー・シアター・スタジオ	1,528
	ART LEAP 2018 tuQmoパフォーマンス	2月23日～3月17日	シアター	412
	ART LEAP 2018 オープニングトーク	2月23日	ギャラリー	40
	ART LEAP 2018 関連企画「はじめてのポールダンス」	3月2日	スタジオ	16
	ART LEAP 2018 関連企画「tuQmoワークショップ」	3月16日	シアター	3
	ART LEAP 2018 クロージング座談会	3月17日	ギャラリー	19
	シルクスクリーンWS in 東急ハンズ	3月23日	東急ハンズ心斎橋店	8
	オープンアトリエ	4月～3月	アトリエKAVC	210
合計(18事業159日間・公演)				2,677
事業名		日付	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
映像事業	KAVC CINEMA 4月「早春 DEEP END」「クイーン 旅立つわたしのハネムーン」「ゆれる人魚」「ナショナル・シアター・ライブ『ハムレット』」「ナショナル・シアター・ライブ『お気に召すまま』」	4月14日～27日	KAVCシアター	444
	関連講座vol.1「ハムレット」(映画鑑賞日は除く)	4/26、5/10、5/24	会議室	34
	KAVC CINEMA 5月「危険な関係」「まともな男」「私が殺したリー・モーガン」「デイヴィッドとギリアン 響きあふふたり」	5月12日～25日	KAVCシアター	588
	関連企画「トランペッター広瀬未来の解説ミニライブ」	5月19日	KAVCシアター	50
	KAVC CINEMA 6月「泳ぎすぎた夜」「枝葉のこと」「ラスト・ワルツ」「ナショナル・シアター・ライブ『エンジェルス イン アメリカ』I・II」	6月9日～22日	KAVCシアター	387
	泳ぎすぎた夜 関連企画「実景 JIKKEI」展示	6月6日～13日	KAVCギャラリー	103
	泳ぎすぎた夜 関連企画「実景 JIKKEI」トーク	6月9日	KAVCギャラリー	13
	KAVC CINEMA 7月「ルイ14世の死」「イカリエ -XB1」「ミッドナイト・ランナー」「北朝鮮をロックした日 ララバッハ・デイ」	7月14日～27日	KAVCシアター	563
	特集上映「80'Sアイドル映画と新人監督が生まれた時代」(「セーラー服と機関銃」「時をかける少女」「すかんぴんウォーク」「ファンシイダンス」「野菊の墓」)	8/11(土)～16(金)	KAVCシアター	201
	大森一樹監督トークイベント「アイドル映画とスター映画」	8月11日	KAVCシアター	35
	ナショナル・シアター・ライブ「誰もいない国」「欲望という名の電車」	8月18日～24日	KAVCシアター	158
	NTL関連講座vol.2「誰もいない国」(映画鑑賞日は除く)	8/1、8/8、8/15	会議室	39
	淀川長治が愛した映画「戦艦ポチョムキン」「恍惚の人」「愛の亡霊」「キッズ・リターン」	9月21日～24日	KAVCシアター	124
	子供映画特集「なまいきチョルベンと水夫さん」「くまのアーネストおじさんとセレスティース」	9月21日～24日	KAVCシアター	19
	KAVC CINEMA 10月「バンクシーを盗んだ男」「人間機械」「若い女」「ナショナル・シアター・ライブ『ザ・オーディエンス』」「ナショナル・シアター・ライブ『アマデウス』」	10月6日～19日	KAVCシアター	321
	KAVC CINEMA 11月「ヴァンサンへの手紙」「暗殺のオペラ」「あまねき旋律(しらべ)」「ベルイマン生誕100年映画祭」	11月10日～23日	KAVCシアター	479
	ヴァンサンへの手紙 関連企画「絵本読み聞かせ」	11月10日	会議室	10
	ヴァンサンへの手紙 関連企画「日本手話講座」	11月18日	会議室	23
	KAVC CINEMA 12月「恐怖の報酬」「つかのまの愛人」「夜明け前 呉秀三と無名の精神障害者の100年」「ベギー・グッゲンハイム」「ナショナル・シアター・ライブ『イエルマ』」「ナショナル・シアター・ライブ『フォーリーズ』」	12月8日～21日	KAVCシアター	693
	新春！ニッポンの喜劇映画セレクション 第二弾(「お父さんはお人好し」「待って居た像」「喜劇 団地親分」「続 番頭はんと丁稚どん」「百万ドルの明星 陽気な天国」「コント55号とミーコの絶体絶命」「正義だ！味方だ！全員集合！」「クレージーの花嫁と七人の仲間」)	1月12日～18日	KAVCシアター	464

映像事業	KAVC CINEMA 2月「チェコスワン」「ニューヨーク、ジャクソンハイツにようこそ」「太陽の塔」「ヤング・マルクス」「ジュリアス・シーザー」	2月2日～15日	KAVCシアター	536
	NTL関連講座vol.3「ジュリアス・シーザー」(映画鑑賞日は除く)	2/1、2/15、2/22	会議室	39
	KAVC CINEMA 3月 アンコール上映「恐怖の報酬」「ミッドナイト・ランナー」「ラスト・ワルツ」	3月28日～31日	KAVCシアター	198
計(23事業501回数)				5,521
事業名		日付	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
音楽事業	The Great Journey	5月13日	KAVCホール	122
	Music Line “STATION” お母さんとこどものためのドラムワークショップ	6月24日	KAVCホール	23
	音遊びの会トーク「社会と音楽」	10月20日	ギャラリー	42
	大友良英と音遊びの会	10月21日	KAVCホール	172
合計(4事業4公演)				359
事業名		日付	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
地域事業	アートサロンvol.4 ウォーリー木下×大谷煥	4月30日	KAVCシアター	30
	新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト	5月12日	KAVCホール	205
	KIITO Marche 出店	5月26日	外部(KIITO)	50
	でっかーい窓ガラスにみんなで大きな絵を描こう!! 消そう!!	7月21日、8月25日	1room	58
	新開地夏まつり/土曜マルシェ	8月4日、5日	1room	247
	CINEMA PORT FES	9月15日～24日メイン期間	新開地・元町	4,345
	フィルムワークショップ	9月24日	ギャラリー	12
	トライやるウィーク	11月5日～9日	6校13名	13
	NEW OPEN AREA	12月8日～16日	ギャラリー	1,028
	NEW クリスマスパティー	12月15日	1room	45
	はじまりのみかたvol.2「ボクはイノシシ」	12月16日	1room	24
	新開地冬まつり&土曜マルシェ12月(連携)	12月1日、2日	新開地界限	234
	田岡和也展「兵庫景! アンコール!! おまけ付き!!!」	1月24日～28日	ギャラリー	45
	色とりどりの鬼のお面をつくろう!	1月27日	ギャラリー	18
	Marching KOBE ナビ ～初めましての巻～	2月24日	C.A.P. STUDIO Y3	10
	新開地土曜マルシェ 4月(連携事業)	4月～3月	ギャラリー、1room	1,242
合計(16事業55公演)				7,606

6 神戸アートビレッジセンター (KAVC) 貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ①柔軟な施設運営と専門性の高いサービスの提供
- ②若手芸術家の支援及び地元地域団体との協働
- ③複合文化施設にふさわしい安全・安心な管理運営

(2) 事業内容

①柔軟な施設運営と専門性の高いサービスの提供

小劇場ならではの柔軟な貸館対応、専門性の高いサービスを提供するとともに、早朝の仕込みや閉館後の撤収など利用者の状況に応じた対応に努めた。

また、アンケートなどで寄せられた来館者のご意見・ご要望に対し速やかに対応するとともに、スタッフ研修などを通じ、共有化を図った。

②地元芸術家・若手芸術家を支援

若手や学生劇団（サークル）など、発表機会の少ない団体への活動支援として、専門スタッフによる打ち合わせ・相談・アドバイスなどサポートを行った。また、1階のコミュニティスペース1roomでのチラシ設置や神戸アートビレッジセンターの公式サイト内での公演紹介など広報協力を通じて積極的な支援を行った。

一方で、新開地周辺の地域団体との連携・協働によるイベントの実施、あるいは食堂事業の展開などさまざまな事業に関わり、地域の活性化に貢献した。

③安全・安心な管理運営かつ省エネ設備への積極的な投資

安全・安心な管理運営では、日常点検、定期点検、法定点検を着実に実施し、設備の不良個所への速やかな対応に努めた。神戸市と連携し、給排水管や空調機器など供用開始後20年が経過し老朽化した設備の改修、更新を実施するとともに、貸出用の備品などを更新し、利用者の要望に応えた。

(3) KAVC 利用状況表（自主事業含む）

平成30年4月1日～平成31年3月31日

施設名	利用者数	踏入件数 (利用件数)	踏入率 (利用率)	前年度踏入率 (利用率)
多機能ホール(KAVCホール)	37,885	197 (545)	67.2% (62.0%)	60.5% (53.1%)
視聴覚ホール(KAVCシアター)	11,618	245 (698)	81.9% (77.8%)	70.3% (62.6%)
リハーサル室1,2	24,654	542 (1,136)	88.7% (61.9%)	84.6% (54.8%)
ギャラリー	11,091	203 (609)	66.9% (66.9%)	68.6% (69.0%)
アトリエ	359	92 (92)	30.1% (10.0%)	26.5% (8.8%)
スタジオ1,2,3	8,380	496 (1,024)	54.7% (37.6%)	53.8% (33.8%)
会議室1,2	9,709	336 (629)	55.5% (34.6%)	51.3% (30.5%)
貸館合計	103,696	2,111 (4,733)	63.5% (47.4%)	59.9% (42.3%)
1room入場者数	72,587			
総入場者数	176,283			
			開館日数	306

7 区民センター講座・地域連携事業

(1) 事業方針

- ①「地域住民とともに歩む区民センター」として市民の文化活動ニーズに対応
- ②講座事業や地域連携事業の実施
- ③「区民センターサポーター」などによる事業運営への住民参画
- ④財団が有する文化事業運営ノウハウや、文化団体との人的ネットワークを活用

(2) 事業内容

①講座事業

入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツなどの講座を、低廉な料金で、春季・秋季の「定例講座」と、季節や住民ニーズ等を反映する「随時講座」を、年間通じて開講した。

新規講座を開設する一方、受講率の低い講座の見直しや講師報酬への歩合制の導入などによる収支改善に努め、また、伝統芸能などの伝承など、公益財団法人として取り組む必要のある講座にも配慮しつつ受講者数の拡大を図った。

②地域連携事業（地域住民参加型のイベント及び地域文化活性化事業）

住民の「発表する」ニーズ及び専門家による芸術文化を「鑑賞する」ニーズに応える地域住民参加型の自主事業「イベント事業」や、各地域の歴史や伝統文化、個性を生かしつつ、参加や鑑賞等、住民が芸術文化に触れたり、日頃磨いた技を発表したり、お互いに交流する機会となる「地域文化活性化事業」を企画実施した。

各センターの特色を生かし、地元住民・団体との協働による住民参加型行事に取り組み、地域の大学・高校・中学校・婦人会等と連携した「東灘区民文化祭」や地域に伝わる伝統文化「農村歌舞伎」を北、西区民センターにてそれぞれ実施した。

また、「市民の第九」や「オペラの舞台稽古見学会」など、神戸文化ホールとの連携事業のほか、地域の保育所等に演奏家が赴くアウトリーチなど地域の文化振興のためにある各区の中核施設にふさわしい管理運営を行った。

【実施例（地域文化活性化事業）】

- 東灘区民センター 書の芸術祭、フィガロの結婚、初めてのクラシック♪親子コンサート
- 葺合文化センター 人形劇団クラルテ「おーいペンギンさーん」、ワインと秋の夜長のJAZZ LIVE、和太鼓松村組新春公演
- 生田文化会館 昭和歌謡コンサート、Brass Paradise Quintet Concert、Shall We Music?
- 北区民センター 農村歌舞伎、すずらん舞コンサート、秋季受講生合同発表会、シャンソンフェスティバル、すずらんホールファミリーコンサート
- 須磨区民センター 京ことばで語る源氏物語「須磨の巻」、うたう♪トークショーお笑い歌謡漫才、須磨フィルのクリスマス ファミリーコンサート、須磨区民センターまつり
- 西区民センター 神戸の農村歌舞伎と講演会、なでしこダンスフェスティバル、こども向けミュージカル、シャンソン発表会、なでしこまつり
- 北神区民センター ありま宇宙博、北神オータムフェスタ 2018、第6回みんなでワイワイチャリティーコンサート、定例講座合同発表会

③作品展示会・発表会

区民センターのギャラリーやロビー、ホール及び花時計ギャラリーにおいて、講座受講生をはじめとする市民の絵画、陶芸、写真等の作品展示会や舞踊、音楽などの発表会を実施した。

(3) 事業実績

平成30年4月1日～平成31年3月31日

		東灘区民センター	葺合文化センター	生田文化会館	北区民センター	北神区民センター	須磨区民センター	西区民センター	計
定例講座	講座数	162	106	159	186	219	192	290	1,314
	定員(人)	3,628	2,047	3,149	4,207	3,875	3,488	7,669	28,063
	応募者数(人)	3,155	1,607	2,633	3,770	3,870	2,598	7,037	24,670
	応募率(%)	87.0	78.5	83.6	89.6	99.9	74.5	91.8	87.9
	受講者数(人)	2,918	1,507	2,455	3,459	3,599	2,456	6,198	22,592
	受講率(%)	80.4	73.6	78.0	82.2	92.9	70.4	80.8	80.5
随時講座	講座数	9	6	32	8	33	12	19	119
	定員(人)	325	97	521	166	565	190	659	2,523
	受講者数	325	43	340	78	359	123	563	1,831
	受講率(%)	100.0%	44.3%	65.3%	47.0%	63.5%	64.7%	85.4%	72.6%
定例&随時講座受講率(%)		82.0	72.3	76.2	80.9	89.1	70.1	81.2	79.9
前年度の受講率(%)		82.6	71.9	79.6	78.0	83.7	71.8	80.0	78.9

		東灘区民 センター	葦合文化 センター	生田文化 会館	北区民 センター	北神区民 センター	須磨区民 センター	西区民 センター	7センター計	合同イベント	合計
演奏会	回数	14	9	10	12	9	11	6	71	2	73
	来場者数	5,824	781	1,091	3,326	3,410	1,992	2,874	19,298	1,455	20,753
演劇・伝統 芸能	回数	3	2	0	2	0	4	4	15	0	15
	来場者数	1,500	190	0	391	0	496	1,161	3,738	0	3,738
発表会	回数	4	9	2	4	6	2	3	30	0	30
	来場者数	8,843	4,838	290	1,712	2,700	1,400	1,120	20,903	0	20,903
その他	回数	4	4	9	11	16	4	14	62	0	62
	来場者数	10,494	55	686	2,517	3,477	735	4,830	22,794	0	22,794
合計	回数	25	24	21	29	31	21	27	178	2	180
	来場者数	26,661	5,864	2,067	7,946	9,587	4,623	9,985	66,733	1,455	68,188

8 区民センター貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ① サービスと利便性の向上、利用促進のための料金割引制度、利用団体への広報・相談サポート提供、積極的な広報活動などの実施
- ② 長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供

(2) 事業内容

① サービスと利便性の向上

1週間前までの夜間延長の利用申し込みや1か月前までの午前8～9時の利用申し込みを受け付けるなどサービスを拡充したほか、休館日が祝日にあたる日の開館やインターネット無料接続サービスの提供およびインターネットを利用した予約受付を継続した。また、老朽化したセンターにおいては市と連携してトイレの改修や漏水対策などを実施した。

② 地域文化団体との連携強化による情報発信や運営サポート支援

地域文化団体の利用料金割引を実施し、地域団体が利用しやすい環境を整えるとともに、館内の掲示板や区民センターだよりなどを活用し、貸館利用団体のイベントの広報に協力した。

③ 積極的な貸館セールス

「区民センターだより」発行、区民センター友の会の運営を継続したほか、近隣のマンション管理組合などへの積極的なセールス（ポスティング）などPRを強化した。

④ 省エネルギーや環境を意識した設備管理

日常的な環境保護の取り組みを広く発信するため、印刷物に神戸環境マネジメントシステム（KEMS）ステップ2の認証を掲載するとともに、未利用フロアの消灯や電球のLED化などを進め省エネルギー化に取り組んだ。

(3) 区民センター利用状況表

平成30年4月1日～平成31年3月31日

		東灘区民センター	葺合文化センター	生田文化会館	北区民センター	北神区民センター	須磨区民センター	西区民センター	合計	
貸室利用	大ホール	利用者数	234,348	25,155	29,898	57,690	81,243	24,670	58,923	511,927
		利用件数	503	534	397	369	473	345	463	3,084
		踏入利用率	64.6%	80.4%	68.6%	73.5%	70.9%	66.9%	70.7%	70.8%
		実利用率	51.3%	54.8%	40.7%	37.9%	48.6%	35.4%	47.5%	45.2%
	会議室	利用者数	63,150	40,769	34,997	69,120	74,293	43,373	107,289	432,991
		利用件数	3,394	2,013	2,003	3,273	4,131	2,329	4,235	21,378
		踏入利用率	85.6%	60.7%	61.5%	85.5%	82.9%	72.1%	83.5%	76.3%
		実利用率	57.7%	34.4%	34.2%	56.0%	60.6%	39.8%	62.1%	49.8%
	特目室	利用者数	51,120	3,405	31,608	15,910	36,666	38,537	71,122	248,368
		利用件数	3,435	250	2,801	987	2,337	2,685	4,175	16,670
		踏入利用率	76.1%	47.0%	63.4%	58.1%	68.9%	67.9%	79.2%	69.8%
		実利用率	50.1%	25.7%	41.0%	33.8%	40.0%	45.9%	53.5%	45.0%
	体育室	利用者数	-	-	29,008	70,333	-	-	-	99,341
		利用件数	-	-	939	2,525	-	-	-	3,464
		踏入利用率	-	-	100.0%	98.3%	-	-	-	98.7%
		実利用率	-	-	96.2%	86.4%	-	-	-	88.9%
	合計	利用者数	348,618	69,329	125,511	213,053	192,202	106,580	237,334	1,292,627
		利用件数	7,332	2,797	6,140	7,154	6,941	5,359	8,873	44,596
		踏入利用率	79.3%	61.5%	65.4%	81.2%	76.1%	69.7%	80.5%	74.2%
		実利用率	53.4%	35.9%	41.9%	56.5%	50.9%	42.3%	56.9%	49.2%
その他施設利用者数		76,142	1,298	4,740	20,314	33,388	11,677	23,100	170,659	
利用者数合計		424,760	70,627	130,251	233,367	225,590	118,257	260,434	1,463,286	
前年度の利用率		55.3%	38.1%	44.9%	56.7%	51.4%	41.6%	59.2%	50.5%	

※その他施設：ギャラリー、談話室、ロビーなど

(※収益事業含む)

9 広報事業

文化振興事業の市民への周知、文化芸術への市民参加の機会拡充、財団の収益向上等の観点から、財団の広報体制を確立するとともに、多様な手段により、積極的に広報PRに努めた。

(1) 文化情報誌の発行

	回数	発行部数	備 考
KOBE C 情報	12	35,000 部 / 月* ※平成 31 年 10 月号より 50,000 部から 35,000 部に変更	市内をはじめ周辺地域を含めた文化に関する情報を幅広く掲載。 市内公共施設、文化施設、地下鉄各駅などの公共交通機関などで配布（毎月 23 日発行）。
ほーるめいと	6	22,000 部 / 隔月	神戸文化ホールの催し物及び神戸市室内管弦楽団及び神戸市混声合唱団の公演情報を掲載。 友の会会員をはじめ、市内公共施設、文化施設、主要駅などで配布。（隔月 20 日発行）。

(2) 神戸アートビレッジセンターからの情報発信

	回数	発行部数	備 考
マンスリーニュース	12	300 部 / 月	KAVC で開催される自主事業、貸館事業 3 か月間のスケジュールをまとめた冊子。 マスコミや関係各所への発送と、KAVC 館内の設置（毎月月末発行）
ART VILLAGE VOICE	1	10,000 部 / 季刊（年 4 回）	KAVC の催し物や、新開地周辺地区の情報掲載した広報誌（年 4 回発行） 会員を始め全国の美術館、劇場、映画館など文化施設への発送 平成 30 年 3 月にリニューアル号を発行した。

(3) 区民センターからの情報発信強化

区民センターからの情報発信機能の充実強化を図るため、チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、区民センターだよりの発行、固定客・リピーター確保のための友の会運営に取り組んだ。

(4) インターネットによる情報発信

財団が主催する主要事業などを幅広く紹介するとともに、神戸文化ホールや神戸アートビレッジセンター、区民センターの空室情報や区民センターの講座受講申込、「KOBE C 情報」の内容をホームページで発信した。

また、「ジャズの街神戸」推進協議会のウェブサイト「JAZZ TOWN KOBE」や神戸国際フルートコンクール公式ウェブサイトの運営を行ったほか、ツイッターやフェイスブック、インスタグラムなど多様な SNS を活用して、リアルタイムの情報発信に積極的に取り組み、ホームページでは紹介しきれない細かな情報発信、「いいね」「リツイート」による SNS ならではの情報拡散などを行い、事業広報に取り組んだ。

ホームページ訪問者数	2,309,362 人（月平均 192,447 人）
Facebook フォロワー数	4,130 人
Twitter フォロワー数	2,133 人

(5) 広報・PRの強化

財団事業を総合的かつ横断的にプロモーションし、公演の入場者数や入場料収入の増加につなげていくため、ホームページの改修等を行った。

また、話題性の高いコラボレーション番組の共同制作・放映、ラジオ番組作成、各種資料提供などマスコミを活用した情報発信に積極的に取り組んだ。

収益事業

<収益事業>

(1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

神戸文化ホールにおいて、コンベンションなど文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また、自動販売機設置や駐車場等神戸文化ホール利用者へのサービス向上を図った。

※施設概要 大ホール、中ホール、リハーサル室、練習室 1～5、
多目的室、特別控室

自動販売機 : 7 台

駐車場（神戸文化ホール練習場） : 10 台

【貸館利用件数】 大ホール 合計 201 件 うち収益 74 件
中ホール 合計 252 件 うち収益 57 件

(2) 神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業

神戸アートビレッジセンターにおいて、地域の集会等文化活動以外を目的とする活動の場を提供した。また、自動販売機設置による利用者へのサービス向上を図った。

※施設概要 多機能ホール、視聴覚ホール、ギャラリー、リハーサル室 1～2、
会議室 1～2、スタジオ 1～3、lroom など

自動販売機 : 4 台

【貸館利用件数】

ホール	合計 545 件	うち収益 5 件
シアター	合計 698 件	うち収益 0 件
ギャラリー	合計 609 件	うち収益 2 件
リハーサル室	合計 1136 件	うち収益 49 件
スタジオ	合計 1024 件	うち収益 9 件
アトリエ	合計 92 件	うち収益 0 件
会議室	合計 629 件	うち収益 48 件

(3) 区民センター講座・地域連携事業

当財団が指定管理者として管理運営する 7 各区民センターにおいて、美容・スポーツなどの文化振興目的以外で利用者ニーズの高い講座や自主事業を開催した。

※例 講座：健康体操、スポーツ吹矢、バドミントン、卓球など

自主事業：コミュニティフェスティバル、卓球大会等

【定例講座件数】 合計 1,314 件 うち収益 274 件

【地域連携事業件数】 合計 149 件 うち収益 11 件

(4) 区民センター貸館・管理事業

指定管理者である区民センターにおいて、イベントなど文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。また、自動販売機設置や駐車場など区民センター利用者へのサービス向上を図った。

※施設概要 大ホール、会議室、多目的室、和室・音楽室・美術室・陶芸室、
体育館など

自動販売機 : 21 台

駐車場（北神区民センター） : 123 台

【貸館利用件数】 合計 44,596 件 うち収益 12,620 件

法人管理運営事業（法人運営全体に関わる事業）

（１）専門性の強化・人材育成

職員の知識向上及びスキルアップを目指し、人材交流を含め当財団内外での研修を充実させるなど、職員一人ひとりの能力・専門性を高め、文化事業を担う団体としての能力向上に努めた。

（２）効率的な執行体制

神戸市室内管弦楽団及び神戸市混声合唱団の幅広い活動に加え、「KOBE ミュージックポート～冬の音楽祭～」や「TRANS-KOBE」など新規事業の立ち上げに必要な事業間の連携や事業執行の効率化、専門性の向上に必要な財団組織を改正し、効率的な執行体制を確立した。

（３）経営基盤の強化

事業における更なる経費の見直しやシステムの導入、アウトソーシングによる業務の効率化などを進めるとともに、インリーチ・アウトリーチ事業や「TRANS-KOBE」など公益性の高い事業に対して国等からの外部助成金の積極的な獲得を行った。

（４）KEMS ステップ２の活動

環境負荷低減を図り、神戸環境マネジメントシステム（KEMS）ステップ２の認証に基づく取り組みを着実に実施した。

中期経営計画 2021 に基づく数値目標

【芸術文化の創造・発信】

	平成 30 年度目標	平成 30 年度実績	平成 29 年度実績
創造発信型事業の数	92	110	113

【普及啓発】

	平成 30 年度目標	平成 30 年度実績	平成 29 年度実績
アウトリーチ実施回数	30	93	64

【国際交流事業】

	平成 30 年度目標	平成 30 年度実績	平成 29 年度実績
海外芸術家等による公演回等数	12	15	21

【指定管理施設管理事業】

1 神戸文化ホール

		平成 30 年度目標	平成 30 年度実績	平成 29 年度実績
利用率 (踏入率)	大ホール	82%	87.1%	94.4%
	中ホール	88%	92.7%	94.2%
利用率 (実利用率)	大ホール	72%	77.4%	83.8%
	中ホール	76%	84.3%	85.1%
利用者数	大中ホール	52.5 万人	38.4 万人	48.8 万人
	練習室含む	58.5 万人	59.7 万人	55.1 万人
利用者満足度		95%	97%	95%
友の会 加入数	個人	1,500 人	1,265 人	1,193 人
	法人	12 社	-	-

2 神戸アートビレッジセンター

		平成 30 年度目標	平成 30 年度実績	平成 29 年度実績
利用率 (踏入率)	ホール	62.0%	67.2%	60.5%
	シアター	77.0%	81.9%	70.3%
	ギャラリー	77.0%	66.9%	68.6%
利用率 (実利用率)	ホール	62.0%	62.0%	53.1%
	シアター	77.0%	77.8%	62.6%
利用者数		179,800 人	176,283 人	162,791 人
利用者満足度		85.0%	99.1%	97.6%

※利用者数には自主事業の利用者数も含む

3 区民センター

		平成 30 年度目標	平成 30 年度実績	平成 29 年度実績
利用率 (踏入率)	全体	78.5%	74.2%	75.4%
	うちホール	72%	70.8%	73%
利用率 (実利用率)	全体	50.5%	49.2%	50.5%
	うちホール	45.5%	45.2%	47%
講座受講者数		25,000 人	24,500 人	25,269 人
利用者満足度		95%	98.0%	97.7%

【財団管理・経営関係】

	平成 30 年度目標	平成 30 年度実績	平成 29 年度実績
経営目標 (年度収支の均衡)	±0	3,011 千円	△21,713 千円

3 平成30年度決算

(1) 事業別収支計算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日, 単位: 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
公益目的事業会計	1,588,260,732	公益目的事業会計	1,615,375,635
文化振興事業収入	104,810,474	文化振興事業支出	113,491,687
文化創生事業収入	66,644,022	文化創生事業支出	57,743,180
演奏事業関係収入	219,642,856	演奏事業関係支出	241,103,654
文化ホール公演事業収入	54,559,798	文化ホール公演事業支出	61,786,667
文化ホール貸館・管理事業収入	295,743,531	文化ホール貸館・管理事業支出	285,304,624
神戸アートビレッジセンター公演事業収入	15,070,919	神戸アートビレッジセンター公演事業支出	25,499,379
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	159,292,104	神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業支出	145,480,889
区民センター講座等事業収入	277,048,875	区民センター講座等事業支出	275,491,116
区民センター貸館・管理事業収入	371,942,153	区民センター貸館・管理事業支出	385,772,190
あじさいホール運営収入	23,506,000	あじさいホール運営支出	23,702,249
収益事業等会計	363,442,061	収益事業等会計	314,775,265
文化ホール貸館・管理事業収入	83,584,585	文化ホール貸館・管理事業支出	57,475,900
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	5,930,641	神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業支出	3,444,240
区民センター講座等事業収入	91,606,580	区民センター講座等事業支出	77,172,032
区民センター貸館・管理事業収入	182,320,255	区民センター貸館・管理事業支出	176,683,093
法人会計	56,348,937	法人会計	74,889,596
財団管理運営事業収入	47,150,505	財団管理運営事業支出	65,669,308
営業企画収入	9,198,432	営業企画支出	9,220,288
当期収入合計 (A)	2,008,051,730	当期支出合計 (B)	2,005,040,496
		当期収支差額 (A) - (B)	3,011,234

* 神戸市からの収入

(1) 補助金 342,938千円

(2) 受託料 632,594千円

(2) 正味財産増減計算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日, 単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収益	0	0	387,097	387,097
文化事業収益	433,345,944	91,606,580	682,432	525,634,956
文化施設等運営収益	191,000	0	0	191,000
管理受託収益	550,503,750	162,887,105	0	713,390,855
施設利用料金収益	276,474,038	108,948,376	0	385,422,414
受取補助金等	327,546,000	0	55,035,000	382,581,000
受取寄付金	200,000	0	0	200,000
受取利息	0	0	768	768
雑収益	0	0	243,640	243,640
経常収益計	1,588,260,732	363,442,061	56,348,937	2,008,051,730
(2) 経常費用				
事業費	1,615,375,635	314,775,265	0	1,930,150,900
管理費	0	0	68,766,293	68,766,293
経常費用計	1,615,375,635	314,775,265	68,766,293	1,998,917,193
当期経常増減額	△ 27,114,903	48,666,796	△ 12,417,356	9,134,537
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
固定資産除去損	0	0	3	3
経常外費用計	0	0	3	3
当期経常外増減額	0	0	△ 3	△ 3
他会計振替額	18,726,084	△ 18,726,084	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 8,388,819	29,940,712	△ 12,417,359	9,134,534
法人税、住民税及び事業税	0	6,123,300	0	6,123,300
当期一般正味財産増減額	△ 8,388,819	23,817,412	△ 12,417,359	3,011,234
一般正味財産期首残高	△ 3,863,958	102,190,725	△ 66,574,100	31,752,667
一般正味財産期末残高	△ 12,252,777	126,008,137	△ 78,991,459	34,763,901
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	0	0	200,000,000
指定正味財産期末残高	200,000,000	0	0	200,000,000
正味財産期首残高	196,136,042	102,190,725	△ 66,574,100	231,752,667
III 正味財産期末残高	187,747,223	126,008,137	△ 78,991,459	234,763,901

(3)貸借対照表

(平成31年3月31日現在, 単位:円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	4,323,044	未払金	212,833,411
預金	148,988,065	前受金	180,960,031
未収金	244,161,662	預り金	5,716,002
前払金	2,259,914	賞与引当金	5,391,125
預け金	17,000		
流動資産合計	399,749,685	流動負債合計	404,900,569
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1)基本財産		退職給付引当金	1,717,760
投資有価証券	216,910,000	固定負債合計	1,717,760
基本財産合計	216,910,000	負債合計	406,618,329
(2)特定資産		III 正味財産の部	
特定資産合計	0	1. 指定正味財産	
(3)その他固定資産		基本財産	200,000,000
什器備品	6,456,715	指定正味財産合計	200,000,000
保証金	18,265,830	(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)
その他固定資産合計	24,722,545	2. 一般正味財産	34,763,901
固定資産合計	241,632,545	(うち基本財産への充当額)	(16,910,000)
		(うち特定資産への充当額)	(0)
		正味財産合計	234,763,901
資産合計	641,382,230	負債及び正味財産合計	641,382,230

(4) 財産目録

(平成31年3月31日現在, 単位: 円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金		未払金	
手元有高	4,323,044	神戸市精算金等	212,833,411
普通預金		前受金	
三井住友銀行ほか1行	135,501,605	文化ホール利用料等	180,960,031
振替預金		預り金	
ゆうちょ銀行	13,486,460	自主事業入場料収入等	5,716,002
未収金	244,161,662	賞与引当金	5,391,125
前払金	2,259,914	流動負債合計	404,900,569
預け金	17,000		
流動資産合計	399,749,685		
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1) 基本財産		退職給付引当金	1,717,760
投資有価証券		固定負債合計	1,717,760
神戸市公債	209,592,346		
普通預金	7,317,654		
基本財産合計	216,910,000		
(2) 特定資産			
特定資産合計	0		
(3) その他固定資産			
什器備品	6,456,715		
保証金	18,265,830		
その他固定資産合計	24,722,545		
固定資産合計	241,632,545		
		負債合計	406,618,329
資産合計	641,382,230	差引正味財産	234,763,901

(5) 事業別収入明細書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日, 単位:円)

科 目	収 入	内 訳						
		事業収入	指定管理料 等収入	補助金収入	助成金収入	利用料金 収入	寄付金収入	その他収入
公益目的事業会計	1,588,260,732	433,536,944	550,503,750	287,903,000	39,643,000	276,474,038	200,000	0
文化振興事業収入	104,810,474	33,031,474		56,442,000	15,137,000		200,000	
文化創生事業収入	66,644,022	15,461,022		51,183,000				
演奏事業収入	219,642,856	42,122,856		154,963,000	22,557,000			
文化ホール公演事業収入	54,559,798	53,110,798			1,449,000			
文化ホール貸館・管理事業収入	295,743,531		149,960,206			145,783,325		
神戸アートビレッジセンター公演事業収入	15,070,919	12,570,919		2,000,000	500,000			
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	159,292,104		142,287,264			17,004,840		
区民センター講座等事業収入	277,048,875	277,048,875						
区民センター貸館・管理事業収入	371,942,153		258,256,280			113,685,873		
あじさいホール運営収入	23,506,000	191,000		23,315,000				
収益事業等会計	363,442,061	91,606,580	162,887,105	0	0	108,948,376	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	83,584,585		35,510,445			48,074,140		
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	5,930,641		5,017,691			912,950		
区民センター講座等事業収入	91,606,580	91,606,580						
区民センター貸館・管理事業収入	182,320,255		122,358,969			59,961,286		
法人会計	56,348,937	682,432	0	55,035,000	0	0	0	631,505
管理運営事業収入	47,150,505			46,519,000				631,505
営業企画収入	9,198,432	682,432		8,516,000				
合 計	2,008,051,730	525,825,956	713,390,855	342,938,000	39,643,000	385,422,414	200,000	631,505

(6) 事業別支出明細書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日, 単位: 円)

科 目	合 計	内 訳	
		人 件 費	物 件 費
公益目的事業会計	1,615,375,635	257,376,693	1,357,998,942
文化振興事業支出 (あじさいホール事業を含む)	137,193,936	25,401,172	111,792,764
文化創生事業支出	57,743,180	14,245,224	43,497,956
演奏事業関係支出	241,103,654	28,177,216	212,926,438
文化ホール関係支出	347,091,291	43,383,913	303,707,378
神戸アートビレッジセンター関係支出	170,980,268	50,722,186	120,258,082
区民センター関係支出	661,263,306	95,446,982	565,816,324
収益事業等会計	314,775,265	53,320,758	261,454,507
文化ホール関係支出	57,475,900	8,822,962	48,652,938
神戸アートビレッジセンター関係支出	3,444,240	1,194,074	2,250,166
区民センター関係支出	253,855,125	43,303,722	210,551,403
法人会計	74,889,596	44,568,130	30,321,466
管理費等支出	65,669,308	36,308,923	29,360,385
営業企画支出	9,220,288	8,259,207	961,081
合 計	2,005,040,496	355,265,581	1,649,774,915

(7) 事業別収支明細書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日, 単位: 円)

科 目	収 入	支 出	収 支 差
公益目的事業会計	1,588,260,732	1,615,375,635	△ 27,114,903
文化振興事業 (あじさいホール事業を含む)	128,316,474	137,193,936	△ 8,877,462
文化創生事業	66,644,022	57,743,180	8,900,842
演奏関係事業	219,642,856	241,103,654	△ 21,460,798
文化ホール関係事業	350,303,329	347,091,291	3,212,038
神戸アートビレッジセンター関係事業	174,363,023	170,980,268	3,382,755
区民センター関係事業	648,991,028	661,263,306	△ 12,272,278
収益事業等会計	363,442,061	314,775,265	48,666,796
文化ホール関係事業	83,584,585	57,475,900	26,108,685
神戸アートビレッジセンター関係事業	5,930,641	3,444,240	2,486,401
区民センター関係事業	273,926,835	253,855,125	20,071,710
法人会計	56,348,937	74,889,596	△ 18,540,659
財団管理運営事業	47,150,505	65,669,308	△ 18,518,803
営業企画事業	9,198,432	9,220,288	△ 21,856
合 計	2,008,051,730	2,005,040,496	3,011,234

(8)財務状況

(単位：千円)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	29 → 30増減	
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部	当期経常増減額	▲ 50,724	▲ 21,713	9,134	30,847
		経常収益	1,899,287	1,978,461	2,008,051	29,590
		うち公益	1,511,274	1,572,531	1,588,261	15,730
		うち公益以外	388,013	405,930	419,790	13,860
		経常費用	1,950,011	2,000,174	1,998,917	▲ 1,257
		うち事業費（公益）	1,548,100	1,625,617	1,615,376	▲ 10,241
		うち事業費（公益以外）	337,518	309,660	314,775	5,115
		うち管理費（公益）	0	0	0	0
		うち管理費（公益以外）	64,393	64,897	68,766	3,869
		評価損益等	0	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0	0	
	経常外収益	0	0	0	0	
	経常外費用	0	0	0	0	
	法人税、住民税及び事業税	272	2,070	6,123	4,053	
	当期一般正味財産増減額	▲ 50,996	▲ 23,783	3,011	26,794	
	一般正味財産期首残高	57,891	55,536	31,753	▲ 23,783	
	合併に伴う正味財産の増減	48,641	0	0	0	
	一般正味財産期末残高	55,536	31,753	34,764	3,011	
	指定正味財産	当期指定正味財産増減額	100,000	0	0	0
指定正味財産増加額		100,000	0	0	0	
指定正味財産減少額		0	0	0	0	
うち一般正味財産への振替額		0	0	0	0	
指定正味財産期首残高		100,000	200,000	200,000	0	
指定正味財産期末残高		200,000	200,000	200,000	0	
正味財産期首残高	157,891	255,536	231,753	▲ 23,783		
当期正味財産増減	97,645	▲ 23,783	3,011	26,794		
正味財産期末残高	255,536	231,753	234,764	3,011		
貸借対照表（B/S）	資産合計	796,032	634,427	641,382	6,955	
	流動資産	552,647	388,627	399,750	11,123	
	固定資産	243,385	245,800	241,632	▲ 4,168	
	うち建物	0	0	0	0	
	負債合計	540,496	402,674	406,618	3,944	
	流動負債	539,761	401,505	404,900	3,395	
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	735	1,169	1,718	549	
	うち長期借入金	0	0	0	0	
	正味財産合計	255,536	231,753	234,764	3,011	
指定正味財産	200,000	200,000	200,000	0		
一般正味財産	55,536	31,753	34,764	3,011		

V 令和元年度事業計画

1 概 要

平成29年に改正された「文化芸術基本法」では、文化芸術の意義と価値を尊重しつつも、文化芸術そのものだけではなく、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育などと連携し、文化芸術により生み出されるさまざまな価値を活用することにより、心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に貢献することを目的としている。

このような潮流のなか、芸術文化の薫りあふれるまちづくりを進めてきた神戸市において、文化による力が神戸をさらなる高みへと押し上げていくために、当財団は、市民とともに喜び合える文化事業を実施し、文化芸術の振興に取り組んでいる。

令和元年度は、現代アートの芸術祭「TRANS-KOBE」やベートーヴェンの全交響曲及び全協奏曲の演奏を行う「ベートーヴェン・チクルス」などの大型の鑑賞型事業に加え、神戸の子どもたちや障がいのある方にも芸術に触れていただけるインリーチ・アウトリーチ事業では、市内小学校に50回以上訪問することを予定し、これまで以上に充実させて多くの市民に良質な芸術文化を届けていく。

【主な事業内容】

(1) TRANS-KOBE

「世界に神戸を発信」し、「アートで人の賑いをつくり地域を活性化する」ことを目的として、兵庫港エリア、新開地エリア、新長田エリアを舞台に、現代アートを中心とした TRANS-KOBE を開催する。海外と国内からそれぞれ世界の第一線を舞台に活躍する作家を1名ずつ招聘し、地域の歴史や文化などを踏まえた作品を発表してもらい、既存の施設と連携しながら、街の空間や特色を活かしたアートの作品の創作・展示を行う。

(2) ベートーヴェン・チクルス

ベートーヴェン生誕250年の節目の年に際し、神戸文化ホール等において、ベートーヴェンの全交響曲・全協奏曲を演奏するコンサートをシリーズ化し、計7回(9公演)に分けて開催する。出演者として、神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団のほか、国内外より著名な指揮者、ソリストを招聘し、神戸ならではの音楽を発信することで、両団の周知・魅力発信を行う。

(3) 村田沙耶香×松井周 inseparable 新作公演「変半身(かわりみ)」

芥川賞作家/村田沙耶香と岸田戯曲賞作家/松井周が、国内外での取材を経て、作品世界とコンセプトを一緒に考えながら「予想を超える未来」を描きだす。村田氏にとっては初の舞台作品であり、図書館と連携した関連イベントも実施。演劇プロデュースで実績のある制作会社と、3つの地域に根ざす公立文化施設(神戸文化ホール、三重県文化会館、ロームシアター京都)による共同制作のオリジナル演劇公演。

(4) KAVC FLAG COMPANY 2019-2020

KAVC 舞台芸術プログラム・ディレクターであるウォーリー木下氏による演劇セレクション。関西を中心に活躍する気鋭のカンパニーをシリーズで紹介する。

2 事業計画

公益目的事業

1 文化振興事業

(1) 事業方針

- ① 市民の文化向上に資する質の高い鑑賞型事業の提供
- ② 芸術文化による神戸ブランドの創造発信
- ③ 市民参加型芸術文化事業の充実
- ④ 地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援
- ⑤ 情報収集・提供の充実（多様な文化芸術の紹介）
- ⑥ 芸術文化を担う人材の育成

(2) 事業内容

① 市民の文化向上に資する質の高い鑑賞型事業の提供

市民に感動を与え、感性や創造性を育む質の高い芸術を鑑賞出来る機会として、ウィーン・フィル所属のヘーデンボルク直樹率いるヘーデンボルク・トリオによる演奏会を開催する。また、病院などにおいてプロのアーティストによるアートプログラムに触れる機会を創出し、ホールに来ることが困難な人に対しても鑑賞機会の提供を図る。

② 芸術文化による神戸ブランドの創造発信

「TRANS-KOBE」では、ラグビーワールドカップ 2019 の開催に合わせて、兵庫港エリア、新開地エリア、新長田エリアを会場とし、世界的に活躍する著名な現代アートの作家による作品展示を行い、知られざる神戸の魅力を掘りおこし国内外に紹介する。また、「KOBE ミュージックポート～秋の音楽祭～」を「TRANS-KOBE」の時期に合わせて開催するほか、2年後の「第10回神戸国際フルートコンクール」に向けた準備など、神戸ブランドの創造発信を行う。また、「ジャズの街神戸」推進協議会の事業では、「神戸ユースジャズオーケストラ」の活動推進や、「KOBE JAZZ DAY 2019」などに取り組む。

③ 市民参加型芸術文化事業の充実

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、KOBE ミュージックポートの中で「フルート 500 人アンサンブル～みんなで奏でる大人数オーケストラ」を実施するなど、市民参加型事業を展開する。また、「TRANS-KOBE」ではアーティストによる作品展示に加え、アートを楽しむきっかけとして、市民をはじめ誰もが参加できるパブリックプログラムを公募などの企画により実施する。

④ 地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援

神戸文化の基盤となっている地元芸術文化団体の活動を支援するとともに、協力関係の強化を図る。また、「神戸市吹奏楽祭」、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」などを通じて、今後の神戸文化の担い手となる若手人材の育成を支援する。さらに、「TRANS-KOBE」ではパブリックプログラムの企画などにおいて地元集う地元芸術文化団体・アーティスト・クリエイターと連携し、事業を推進する。

⑤ 情報収集・提供の充実

多種多様な芸術文化活動を広く紹介するため「KOBE C情報」を毎月発行するとともに、SNSを活用するなど、情報発信機能の強化を図る。

⑥ 芸術文化を担う人材の育成

各種事業の企画・実施を通じて、アートマネジメント能力の向上を図るなど、「担い手」としての養成・機会確保に努める。

2 演奏事業（神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団）

（1）事業方針

- ① 神戸文化ホールおよび区民ホールなどにおける質の高い演奏の提供
- ② 演奏水準のさらなる向上
- ③ 広報強化、アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ④ 自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

（2）事業内容

① 神戸市室内管弦楽団

神戸市室内管弦楽団では、国内外で活躍する指揮者・ソリストをゲストとして招聘し、演奏会の充実を図る。また、3か年事業の最終年を迎える「CLASSIC PLUS」では、世界で活躍する神戸ゆかりアーティストを招聘するとともに、神戸タータンやスイーツなどとコラボレーションした会場づくりや事前講座の開催、高校・商店街などへのアウトリーチを実施する。

《神戸市室内管弦楽団定期演奏会》

定期演奏会	6月：エリーザベト・ヴェーバー（ヴァイオリン） 9月：ヨハネス・マイスル（指揮）、長尾 春花（ヴァイオリン）、アヴェディス・クユムジャン（ピアノ）
ベートーヴェン・チクルス	前夜祭：秋山 和慶（指揮）、伊藤 恵（ピアノ） 第1回：リュウディガー・ボーン（指揮）、エリソ・ヴィルサラージェ（ピアノ） 第2回：ジョナサン・コーエン（指揮）、キム・ソヌク（ピアノ）

② 神戸市混声合唱団

設立30周年を記念し、指揮に山田和樹を迎え、東京混声合唱団と初の合同公演を開催するほか、秋・春の定期演奏会に下記の指揮者を招聘し演奏会を行う。また区民センターなどで行う公演では、新たなファン層獲得のため趣向を凝らした公演を開催する。

《神戸市混声合唱団定期演奏会》

9月	藤井 宏樹（指揮）「テーマ：世界への希望」
3月	松村 努（指揮）「テーマ：春へのあこがれ」

③ 両楽団の周知・魅力発信の取り組み

2つの楽団を持つ強みを活かし、合同公演を区民センターで初めて実施するとともに、商店街や集客力のあるショッピングモールなどでまちなかコンサートを行い、両楽団の周知および魅力を発信し、主催公演への集客や新たな依頼公演の獲得につながるよう、効果的なプログラムの検討および営業活動に取り組む。

また、子どもと一緒に鑑賞できるコンサートを新たに区民センターで実施するほか、次代を担う子ども達に対する鑑賞機会の提供のため、小学生を神戸文化ホールに招待する「インリーチ事業」と、小学校へ出張演奏を行う「アウトリーチ事業」を、6年間で市内全小学校に訪問するよう、拡充して取り組んでいく。

3 神戸文化ホール公演事業

(1) 事業方針

- ① 神戸文化ホールを拠点とした芸術創造・発信事業の積極的な展開
- ② 優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供及び鑑賞教室や解説セミナーなどの実施
- ③ 財団のネットワークを活用した市民・芸術家・文化団体などとの交流及び連携事業の実施

(2) 事業内容

① 芸術創造・発信事業

神戸市室内管弦楽団及び神戸市混声合唱団の公演や神戸の文化発信の基盤である地元芸術団体、文化の担い手である若手芸術家に発表の機会を提供するとともに、市民の参加や地域及び他地域の文化施設との連携により、文化施設としての機能充実につながる事業を展開する。また「創造・発信」への取り組みをより発展させていくために、制作や技術面でのスタッフの能力向上に努める。

② 教育普及・育成事業

子どもたちや働き盛りの若い世代など、様々な世代が気軽に施設に集い、交流し、楽しみながらアートに親しむ「テーマパーク」型イベントを実施する。

能、狂言、歌舞伎の鑑賞教室や解説セミナーを実施して、世界に誇る伝統芸能を学ぶ機会を提供するとともに、国内外で活躍する一流の作家や演出家、舞踊家から直接レクチャーやワークショップを受ける機会を設け市民とアーティストの出会いを生み出す。

また、市内の小中学生を招待するインリーチ事業や芸術家が学校に出張するアウトリーチ事業を実施し、文化・芸術の普及に貢献する。

③ 鑑賞型事業

国際的にレベルの高い公演や、民間興行では実現しにくい公演などを中心に、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。

具体的には、中高年を中心に根強い人気を誇る「アルゼンチンタンゴ」のほか、45回目を迎える「東西落語名人選」や「松竹大歌舞伎（座頭 中村鴈次郎）」など開館当時から続く伝統的な公演を継続する。

4 神戸文化ホール貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ① 弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

- ② 施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ③ 文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ④ 基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

(2) 事業内容

① 弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

年中無休、早朝仕込み・深夜撤収など、ニーズに応じた弾力的な運用を継続する。

また、舞台スタッフによる専門性の高い舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営で利用者をサポートする。

② 施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営

利用後のアンケートや「お客様の声 BOX」でいただいたご意見・ご要望をもとに、ホール運営全般の改善に努める。

③ 文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援

抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続する。

④ 基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

設備全般にわたる日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努め、神戸市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行なうとともに、市と連携して老朽化が進んでいる大ホール及び中ホールの舞台機構（吊物）について更新を行う等施設及び設備の改築更新を進める。

また、チケットの発券や貸館予約システムなどのシステム改修を行い、ICT環境を充実するなど、利用者にとって使いやすいサービスを提供する。

5 神戸アートビレッジセンター（KAVC）事業

(1) 事業方針

- ① 先進的・実験性のある事業の実施
- ② アートの世界への入り口となるワークショップや講座の実施
- ③ 市内外の文化施設や教育機関などとの交流・連携
- ④ まちの賑わい及び活性化への寄与

(2) 事業内容

① 演劇・舞踊事業

舞台芸術プログラム・ディレクターであるウォーリー木下氏が関西の気鋭劇団を7つセレクトし、シリーズで紹介する。関連企画として、ゲストを迎えてのアフタートークやワークショップを充実させ、多角的に演劇を楽しめるような仕組みをつくる。また、全ての公演で批評を書いてもらい、WEB上で掲載、演劇文化を積極的に発信する。

若手ダンサーのショーケース公演「ダンスの天地」、高校生を対象にしたGo! Go! High School Projectを実施する。

② 美術事業

ART LEAP 2019 では、審査員に森美術館副館長兼チーフ・キュレーターの片岡真実氏を迎え、30-40代の中堅作家を対象にした公募の個展を行う。

平成 29～平成 30 年度に発行した「### (メッシュ)」で扱った技法などを用いて、シルクスクリーンのワークショップを神戸アートビレッジセンターの内外で行い、シルクスクリーンの普及と「###」の販売促進に努める。また、フィンランドからシルクスクリーン作家が来日するのにあわせて C. A. P. (NPO 法人 芸術と計画会議) と連携事業を展開する。

③ 映像事業

大手映画館では上映されないが、質の高い映画を上映するアート系シアターとして、1 か月につき 2 週間 4～5 作品を目安に新作上映を行う。世界一流の演劇作品を映像として見せる「英国ナショナルシアターライブ (NTL)」の新作を扱うことができるようになり、NTL で上映する作品について、大学教員など第一人者が解説する連続講座や、興行映画プログラムに関連して行うトークなど、映画を観るだけでなく深めるプラスαの企画も実施していく。

④ 音楽・地域事業

ジンバブエの民族音楽・舞踊グループ「ジャナグル」の公演を新開地商店街と兵庫公会堂で行う。(一財) 地域創造と共にを行うコンテンポラリーダンス活性化事業では、地域事業として中学校へ出かける。新開地や元町の映画館と一緒に商店街店舗とも連携して行う地域映画祭「KOBE CINEMA PORT フェス」、小学校と取り組む美術事業「NEW OPEN AREA」も引き続き実施する。

また、新開地夏まつりや冬まつりでのワークショップや、1room の大きなガラス面に絵を描いて消すワークショップなど、地域に住む小さな子どもたちを対象にした企画にも取り組んでいく。

6 神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ① 柔軟な施設運営と専門性の高いサービスの提供
- ② 若手芸術家の支援及び地元地域団体との協働
- ③ 複合文化施設にふさわしい安全・安心な管理運営

(2) 事業内容

① 柔軟な施設運営と専門性の高いサービスの提供

早朝・深夜の仕込み・撤収など、開館時間内に収まらない場合も、利用者の要望に応じて柔軟に対応する。

また、小劇場の特性を活かし、多種多様な催し物に対応できるオペレーションやプランニングの提案など、専門性の高いサービスを提供していく。また、アンケート調査などで得た、利用者等の意見をサービス向上のための改善に活かしていく。

そのため、スタッフ研修などを行うなど、職員の資質向上を図りながら、練習から発表までを補える複合文化施設の特徴を生かして多様な文化活動を支援し、幅広い客層を取り込むことで、地域の賑わいづくりに繋げていく。

②若手芸術家の支援及び地元地域団体との協働

旗揚げ公演や学生劇団 (サークル) などの、発表経験の少ない団体への活動支援として、専門スタッフによる打合せ・相談・アドバイスなど積極的にサポートができる体制を整えること

もに、1 room でのチラシ設置や、神戸アートビレッジセンターの公式サイト内での公演紹介など、広報協力を行う。

地域団体との協働で新開地周辺の活性化事業に積極的に関わり、施設利用料金の減免などを行う。

③ 複合文化施設にふさわしい安全・安心な管理運営

設備全般にわたる日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努める。神戸アートビレッジセンターは開館後 20 年以上が経過しており、今年度はホール及びシアターの照明設備の更新ならびに、エレベーターの更新を行い利用者の利便性向上を図る。さらに、今後も老朽化による不具合も増えてくることから、小修繕による施設・設備の長寿命化を図りつつ、安全・安心な管理運営を行なう。また、LED 照明やセンサー照明などの省エネ設備への積極的な投資を行う。

7 区民センター講座・地域連携事業

(1) 事業方針

- ① 「地域住民とともに歩む区民センター」として市民の文化活動ニーズに対応
- ② 講座事業や地域連携事業の実施
- ③ 「区民センターサポーター」などによる事業運営への住民参画
- ④ 財団が有する文化事業運営ノウハウや、文化団体との人的ネットワークの活用

(2) 事業内容

① 講座事業

春季・秋季の「定例講座」として入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツなどの講座を、また季節や住民ニーズなどを反映する「随時講座」を年間通じて開講する。

一方、受講率の低い講座の見直しや講師報酬への歩合制の導入などにより収支改善に努めるとともに、伝統芸能等公益財団法人として取り組む必要のある講座にも配慮しつつ受講者数の拡大を図る。

② 地域連携事業（地域住民参加型のイベント及び地域文化活性化事業）

各センターの特色を生かした住民参加型の事業に取り組むとともに、「だんじり」や「須磨琴」など地域の伝統文化や歴史を生かした事業を実施する。

また、「神戸能プレイベント」など神戸文化ホールとの連携事業を実施するほか、地域の保育所等に演奏家が赴くアウトリーチなど、地域の文化振興のための中核施設にふさわしい管理運営を行う。

また「市民の第九」では、勤労市民センターと区民センターの合唱団員で合同練習を経て本番公演行うなど（公財）神戸いきいき勤労財団（勤労市民センター）との連携にも取り組んでいく。

※地域文化活性化事業の例

東灘：書の芸術祭

葺合：影絵劇団かしの樹「おやゆびひめ・はらぺこプンタ」

生田：Shall We Music?

北：すずらんホール農村歌舞伎

北神：北神オータムフェスタ

須磨：講談で語る須磨の歴史

西：なでしこダンスフェスティバル など

③作品展示会・発表会

区民センターのギャラリーやロビー、ホール及び花時計ギャラリーにおいて、講座受講生をはじめとする市民の絵画、陶芸、写真などの作品展示会や舞踊、音楽などの発表会を実施する。

8 区民センター貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ①料金割引制度や利用団体への広報・相談サポートなどの向上と積極的な広報活動による利用促進
- ②長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供

(2) 事業内容

① サービスと利便性の向上

例：休館日の祝日開館、インターネット予約受付、インターネット無料接続サービスの提供、利用料金の割引対象拡充など

② 地域文化団体との連携強化による情報発信や運営サポート支援

例：地域文化団体の利用料金割引拡充、貸館利用団体専用掲示板設置など

③ 積極的な貸館セールス

例：「区民センターだより」発行、「友の会」・ホームページの活用

④ 省エネルギーや環境を意識した設備管理

例：節電、環境保護の取り組みの日常業務への組み入れ

9 広報事業

財団事業の市民への周知、芸術文化への市民参加の機会拡充、財団の収益向上などの観点から、広報体制を確立するとともに、メディアの活用など多様な手段により、これまで以上に積極的な広報PRに努める。

(1) 文化情報誌 「KOBE C情報」の発行

市内及び近隣都市の文化に関する各種情報を市民に提供するため、月刊誌「KOBE C情報」を発行(35,000部/月)し、市営地下鉄・私鉄の各駅や、区民センター・区役所など市内外で幅広く配付する。

(2) 神戸文化ホールからの情報発信強化

神戸文化ホールの情報発信機能の充実を図るため、情報誌「ほーるめいと」を発行(22,000部/隔月)している。メールマガジンの発行の工夫や友の会入会キャンペーンを展開することで登録者を増やし、新規顧客につなげる。

(3) 区民センターからの情報発信強化

区民センターの情報発信機能の充実を図るため、チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、区民センターだよりの発行、友の会運営に取り組む。

(4) 神戸アートビレッジセンターの情報発信強化

情報発信機能を充実、強化するため、チラシやホームページ、SNS など幅広い広報 PR に努める。また広報誌「ART VILLAGE VOICE」の発行（季刊発行）、友の会「かぶっクラブ」の運営、施設サポーターの運営、神戸市内の文化施設との連携、ポスティングなど地域や他施設への定期的な情報発信に取り組む。

(5) インターネットによる情報発信

当財団が主催する主要事業などを幅広く紹介するとともに、管理している各施設の空室情報や講座の受講申込み、各種情報誌の内容をホームページに掲載する。

また、ツイッターやフェイスブック、インスタグラムなど多様な SNS を活用したリアルタイムの情報発信に積極的に取り組むとともに、動画共有サイトなどによる事業広報を展開する。

(6) 広報 PR の強化

財団事業を総合的かつ横断的にプロモーションし、公演の入場者数や入場料収入の増加につなげていく。

また、話題性の高いコラボレーション番組の共同制作・放映、ラジオ番組作成、各種資料提供などマスコミを活用した情報発信に積極的に取り組む。

収益事業

(1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

神戸文化ホールにおいて、コンベンションなど文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置や駐車場など神戸文化ホール利用者へのサービス向上を行う。

(2) 神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業

芸術文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また、自動販売機設置を行うほか、飲食店舗「はっちゃんの台所」など利用者へのサービス向上と地域の賑わいづくりにつながる1 roomの活用を行う。

(3) 区民センター講座・地域連携事業

当財団が指定管理者として管理運営する7区民センターにおいて、美容・スポーツなどの文化振興目的以外で利用者ニーズの高い講座や自主事業を開催する。

(4) 区民センター貸館・管理事業

指定管理者である区民センターにおいて、イベントなど文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。また自動販売機設置や駐車場など区民センター利用者へのサービス向上を行う。

法人管理運営事業（法人運営全体に関わる事業）

（1）専門性の強化・効率的な執行体制の構築

芸術文化事業についての研修等の充実を図り、職員の知識の向上及び専門性の強化など人材育成に努めるとともに、優秀な職員を固有職員として登用する。

平成30年度から、職員研修を充実させ、職員に基礎実務研修や専門家を招聘した特別講義などを定期的に開催しているが、今年度においても人材育成プログラムの充実を図っていく。

（2）経営基盤の強化

「中期経営計画2021」で定めた目標の実現に向け、事業を着実に実施していくためには、経営の安定が必須であることから、事業収入の確保のほか、公的及び民間団体からの助成金の獲得、税制優遇制度を活用した寄附など外部資金の獲得に向けて、これまで以上に力を入れて取り組む。

また、当財団事業について、改めて再構築の観点から徹底的な見直しを進めていく。

昨年7月に地元経済界が立ち上げた芸術文化を支援する「神戸文化マザーポートクラブ」の事務局を当財団が担うことで、芸術文化界と地元経済界のつなぎ役を担うとともに、当財団としても経済界との関係を深め、当財団に対する企業協賛等支援の獲得を目指していく。

（3）KEMS ステップ2の活動

環境負荷低減を図り、神戸環境マネジメントシステム（KEMS）ステップ2の認証に基づく取り組みを着実に実施する。

中期経営計画 2021 に基づく数値目標

【芸術文化の創造・発信】

	平成 29 年度実績	平成 30 年度実績	平成 31 年度目標
創造発信型事業の数	113	110 (92)	95

平成 30 年度見込みの欄の () 内は目標・計画 (以下同じ)

【普及啓発】

	平成 29 年度実績	平成 30 年度実績	平成 31 年度目標
アウトリーチ実施回数	64	93 (30)	30

【国際交流事業】

	平成 29 年度実績	平成 30 年度実績	平成 31 年度目標
海外芸術家等による公演回数等数	21	15 (12)	13

【指定管理施設管理事業】

1 神戸文化ホール

		平成 29 年度実績	平成 30 年度実績	平成 31 年度目標
利用率 (踏入率)	大ホール	94.4%	87.1% (82%)	82%
	中ホール	94.2%	92.7% (88%)	88%
利用率 (実利用率)	大ホール	83.8%	77.4% (72%)	72%
	中ホール	85.1%	84.3% (76%)	76%
利用者数	大中ホール	48.8 万人	38.4 万人 (52.5 万人)	53 万人
	練習室含む	55.1 万人	59.7 万人 (58.5 万人)	59 万人
利用者満足度		95.0%	97% (95%)	95%以上
友の会 加入数	個人	1,193 人	1,265 人 (1,500 人)	1,700 人
	法人	-	- (12 社)	14 社

2 神戸アートビレッジセンター

		平成 29 年度実績	平成 30 年度実績	平成 31 年度目標
利用率 (踏入率)	ホール	60.5%	67.2% (62%)	63.0%
	シアター	70.3%	81.9% (77%)	78.0%
	ギャラリー	68.6%	66.9% (77%)	78.0%
利用率 (実利用率)	ホール	53.1%	62.0% (62%)	63.0%
	シアター	62.6%	77.8% (77%)	78.0%
利用者数		162,791 人	176,283 人 (179,800 人)	181,800 人
利用者満足度		97.6%	99.1% (85%)	85.0%

3 区民センター

		平成 29 年度実績	平成 30 年度実績	平成 31 年度目標
利用率 (踏入率)	全体	75.4%	74.2% (78.5%)	79%
	うちホール	73.0%	70.8% (72%)	72.5%
利用率 (実利用率)	全体	50.5%	49.2% (50.5%)	51%
	うちホール	47.0%	45.2% (45.5%)	46%
講座受講者数		25,269 人	24,500 人 (25,000 人)	25,000 人
利用者満足度		97.7%	98.0% (95%)	95%

【財団管理・経営関係】

	平成 29 年度実績	平成 30 年度実績	平成 31 年度目標
経営目標 (年度収支の均衡)	△21,713 千円	3,011 千円	±0

3 経営改善の取り組み

これまで、理事長に芸術文化に精通した民間企業の役員経験者を、他の理事及び評議員に芸術文化の専門家に加え経済界から人材を迎えるなどの取り組みを進めてきた当財団は、さらに理事の拡充や職員の正規化を図るなど、積極的な人材登用を進めており、芸術文化の企画だけでなく、マネジメントや広報などの分野においても専門性を高めている。

また、芸術文化を支援するため、地元経済界が立ち上げた「神戸文化マザーポートクラブ」の事務局を担うことで経済界との関係を深めていくなかで、今後は当財団に対する企業協賛など支援の獲得に取り組むとともに、下記の経営改善に取り組む。

(1) 利用促進等

①公演等事業

良質で特色のある芸術文化プログラムを市民に提供するという劇場法の趣旨に基づき、神戸市室内管弦楽団や神戸市混声合唱団などによる公演のほか、神戸ゆかりのアーティストによる公演や芥川賞作家の村田沙耶香と岸田戯曲賞作家である松井周による共同制作のオリジナル演劇公演など話題性のある公演を実施する。また、今年度初めての開催となる TRANS-KOBE においては、出展作家を2名に絞るなど、これまでにない取り組みに挑戦し、鑑賞芸術の新たな魅力を発信する。

また、子ども向けのコンサートや演劇などを拡充するとともに、市内の全小学生にむけたアウトリーチ・インリーチ事業を実施し、次世代の鑑賞者の裾野拡大を図る。

一方で聴覚に障がいのある方が振動などを通じて音楽を楽しんでいただくなどの新たな取り組みを行うことで一人でも多くの市民の期待とニーズに応えていく。

②貸館利用

利用者ニーズにきめ細かく対応する弾力的な施設運営を実施するほか、定期的な点検などを行うことにより安全・安心に施設を利用していただけるような運営を行う。また、舞台技術などに関する専門的かつ的確なアドバイスにより、利用者が行う舞台表現のレベル向上に貢献するなど、利用者の満足度向上を図り、リピーター確保に繋げていく。

③広報・PR

財団の事業を、積極的にフェイスブック等の SNS による情報発信や動画を活用して PR し、新たな顧客を獲得していく。

また、神戸で活躍する著名なアニメーターが作成した事業オリジナルのキャラクターを用いてこれまでに無い客層へ PR を試みるなど、裾野を広げる挑戦を続けていく。

(2) その他

①外部資金の積極的獲得

これまで継続的に獲得してきた外部助成金はもとより、他にも、国や民間団体、企業が行っている助成制度も幅広く活用して収入の増加を目指すとともに、事業展開において民間企業から積極的に協賛を依頼していく。

②事業執行の効率化

個々の事業における経費の見直しによる削減をさらに進めるとともに、電子決裁等システムの構築を行うことで事務の効率化を図り、収支の改善につなげていく。

4 令和元年度予算

(1) 事業別収支予算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日, 単位: 千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
公益目的事業会計	1,720,320	公益目的事業会計	1,730,644
文化振興事業収入	49,533	文化振興事業支出	57,124
文化創生事業収入	183,378	文化創生事業支出	183,866
演奏事業関係収入	289,585	演奏事業関係支出	288,853
文化ホール公演事業収入	60,776	文化ホール公演事業支出	71,555
文化ホール貸館・管理事業収入	305,830	文化ホール貸館・管理事業支出	300,376
神戸アートビレッジセンター公演事業収入	14,327	神戸アートビレッジセンター公演事業支出	24,951
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	154,684	神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業支出	140,624
区民センター講座等事業収入	281,647	区民センター講座等事業支出	270,767
区民センター貸館・管理事業収入	356,741	区民センター貸館・管理事業支出	368,339
あじさいホール運営収入	23,819	あじさいホール運営支出	24,189
収益事業等会計	329,546	収益事業等会計	309,039
文化ホール貸館・管理事業収入	67,423	文化ホール貸館・管理事業支出	56,679
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	4,203	神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業支出	4,357
区民センター講座等事業収入	86,926	区民センター講座等事業支出	81,227
区民センター貸館・管理事業収入	170,994	区民センター貸館・管理支出	166,776
法人会計	61,967	法人会計	72,150
財団管理運営事業収入	53,951	財団管理運営事業支出	64,134
営業企画収入	8,016	営業企画支出	8,016
当期収入合計 (A)	2,111,833	当期支出合計 (B)	2,111,833
		当期収支差額 (A) - (B)	0

* 神戸市からの収入

- (1) 補助金 511,927千円
(2) 受託料 608,912千円

(2) 予定正味財産増減計算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日, 単位: 千円)

科目	金額	
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産受取利息	387	
文化事業収益	507,893	
文化施設等運営収益	300	
管理受託収益	656,051	
施設利用料金収益	403,824	
受取補助金等	543,377	
受取寄付金	0	
受取利息	1	
雑収入	0	
経常収益計		2,111,833
(2) 経常費用		
事業費	2,039,683	
管理費	72,150	
経常費用計		2,111,833
当期経常増減額		2,070
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計		0
(2) 経常外費用	0	
経常外費用計		0
税引前当期一般正味財産増減額		2,070
法人税、住民税及び事業税		2,070
当期一般正味財産増減額		0
一般正味財産期首残高		34,763
一般正味財産期末残高		34,763
II 指定正味財産増減の部		
(1) 基本財産運用益		
基本財産受取利息		0
(2) 一般正味財産への振替額		
一般正味財産への振替額		0
当期指定正味財産増減額		0
指定正味財産期首残高		200,000
指定正味財産期末残高		200,000
当期正味財産増減額		0
正味財産期首残高		234,763
III 正味財産期末残高		234,763

(3) 予定貸借対照表

(令和2年3月31日現在, 単位: 千円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	4,323	未払金	168,417
預金	279,199	前受金	180,960
未収金	80,242	預り金	5,716
前払金	2,259	賞与引当金	10,782
預け金	17	流動負債合計	365,875
流動資産合計	366,040		
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1) 基本財産		退職給付引当金	3,435
定期預金	6,910	固定負債合計	3,435
投資有価証券	210,000	負債合計	369,310
基本財産合計	216,910	III 正味財産の部	
(2) 特定資産		1. 指定正味財産	
特定資産合計	0	基本財産	200,000
(3) その他固定資産		指定正味財産合計	200,000
什器備品	2,857	(うち基本財産への充当額)	(200,000)
保証金	18,266	2. 一般正味財産	34,763
その他固定資産合計	21,123	(うち基本財産への充当額)	(16,910)
固定資産合計	238,033	(うち特定資産への充当額)	(0)
		正味財産合計	234,763
資産合計	604,073	負債及び正味財産合計	604,073

(4) 事業別予定収入明細書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日, 単位: 千円)

科 目	収 入	内 訳						
		事業収入	指定管理料等 収 入	補助金収入	助成金収入	利用料金収入	寄付金収入	その他収入
公益目的事業会計	1,720,320	418,267	520,083	450,848	33,950	297,172	0	0
文化振興事業収入	49,533	8,247	0	40,136	1,150	0	0	0
文化創生事業収入	183,378	7,050	0	176,028	300	0	0	0
演奏事業関係収入	289,585	57,920	0	209,165	22,500	0	0	0
文化ホール公演事業収入	60,776	50,776	0	0	10,000	0	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	305,830	0	139,253	0	0	166,577	0	0
神戸アートビレッジセンター公演事業収入	14,327	12,327	0	2,000	0	0	0	0
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	154,684	0	137,224	0	0	17,460	0	0
区民センター講座等事業収入	281,647	281,647	0	0	0	0	0	0
区民センター貸館・管理事業収入	356,741	0	243,606	0	0	113,135	0	0
あじさいホール運営収入	23,819	300	0	23,519	0	0	0	0
収益事業等会計	329,546	86,926	135,968	0	0	106,652	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	67,423	0	21,317	0	0	46,106	0	0
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	4,203	0	3,663	0	0	540	0	0
区民センター講座等事業収入	86,926	86,926	0	0	0	0	0	0
区民センター貸館・管理事業収入	170,994	0	110,988	0	0	60,006	0	0
法人会計	61,967	3,000	0	58,579	0	0	0	388
財団管理運営事業収入	53,951	0	0	53,563	0	0	0	388
営業企画収入	8,016	3,000	0	5,016	0	0	0	0
合 計	2,111,833	508,193	656,051	509,427	33,950	403,824	0	388

(5) 事業別予定支出明細書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日, 単位: 千円)

科 目	合 計	内 訳	
		人 件 費	物 件 費
公益目的事業会計	1,730,644	268,687	1,461,957
文化振興事業支出(あじさいホール事業を含む)	81,313	31,488	49,825
文化創生事業支出	183,866	11,300	172,566
演奏事業関係支出	288,853	24,900	263,953
文化ホール関係支出	371,931	48,514	323,417
神戸アートビレッジセンター関係支出	165,575	53,815	111,760
区民センター関係支出	639,106	98,670	540,436
収益事業等会計	309,039	55,003	254,036
文化ホール関係支出	56,679	9,104	47,575
神戸アートビレッジセンター関係支出	4,357	1,665	2,692
区民センター関係支出	248,003	44,234	203,769
法人会計	72,150	41,778	30,372
財団管理運営事業支出	64,134	36,762	27,372
営業企画課支出	8,016	5,016	3,000
合 計	2,111,833	365,468	1,746,365

(6) 事業別予定収支明細書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日, 単位: 千円)

科 目	収 入	支 出	収 支 差
公益目的事業会計	1,720,320	1,730,644	▲ 10,324
文化振興事業(あじさいホール事業を含む)	73,352	81,313	▲ 7,961
文化創生事業	183,378	183,866	▲ 488
演奏関係事業	289,585	288,853	732
文化ホール関係事業	366,606	371,931	▲ 5,325
神戸アートビレッジセンター関係事業	169,011	165,575	3,436
区民センター関係事業	638,388	639,106	▲ 718
収益事業等会計	329,546	309,039	20,507
文化ホール関係事業	67,423	56,679	10,744
神戸アートビレッジセンター関係事業	4,203	4,357	▲ 154
区民センター関係事業	257,920	248,003	9,917
法人会計	61,967	72,150	▲ 10,183
財団管理運営事業	53,951	64,134	▲ 10,183
営業企画課	8,016	8,016	0
合 計	2,111,833	2,111,833	0

VI 平成30年度主要事業計画・実績比較表

区民センター講座事業（講座受講者数）

施設名	受講者数（人）		
	計画	実績	増減
東灘区民センター	3,250	3,243	△ 7
暮合文化センター	1,800	1,550	△ 250
生田文化会館	2,750	2,795	45
北区民センター	3,750	3,537	△ 213
北神区民センター	3,850	3,958	108
須磨区民センター	2,800	2,579	△ 221
西区民センター	6,800	6,761	△ 39
計	25,000	24,423	△ 577

芸術文化事業

事業名	入場者数（人）			
	計画	実績	増減	
文化振興事業	38,750	53,920	15,170	
音楽事業	31,350	47,962	16,612	
	演劇・舞踊事業等	6,200	4,423	△ 1,777
	その他	1,200	1,535	335
演奏事業	14,850	13,642	△ 1,208	
室内合奏団公演	6,350	5,605	△ 745	
	混声合唱団公演	4,300	4,769	469
	合同公演	4,200	3,268	△ 932
神戸文化ホール事業	62,170	40,118	△ 22,052	
芸術創造・発信事業	14,240	6,151	△ 8,089	
	教育普及・育成事業	17,300	21,188	3,888
	鑑賞・学習事業	30,630	12,779	△ 17,851
神戸アートビレッジセンター事業	14,952	24,367	9,415	
演劇・舞踊事業	5,090	8,204	3,114	
	美術事業	3,162	2,677	△ 485
	映像事業	4,560	5,521	961
	音楽・地域事業	2,140	7,965	5,825

施設毎入場者

(人)

施設名	計画	実績	増減
神戸文化ホール（練習室含む）	525,000	384,047	△ 140,953
神戸アートビレッジセンター	179,800	176,283	△ 3,517
区民センター	1,510,000	1,463,286	△ 46,714

Ⅶ 主要事業の推移(平成28年度～平成30年度)

区民センター講座事業（講座受講者数）

施設名	受講者数（人）				
	28年度	29年度		30年度	
	実績	実績	対前年比	実績	対前年比
東灘区民センター	3,241	3,270	100.9%	3,243	99.2%
葺合文化センター	1,803	1,797	99.7%	1,550	86.3%
生田文化会館	2,724	2,961	108.7%	2,795	94.4%
北区民センター	3,477	3,656	105.1%	3,537	96.7%
北神区民センター	3,759	3,874	103.1%	3,958	102.2%
須磨区民センター	2,692	2,757	102.4%	2,579	93.5%
西区民センター	7,121	6,954	97.7%	6,761	97.2%
計	24,817	25,269	101.8%	24,423	96.7%

芸術文化事業

事業名	入場者数（人）				
	28年度	29年度		30年度	
	実績	実績	対前年比	実績	対前年比
文化振興事業	48,661	56,296	115.7%	53,920	95.8%
音楽事業	34,215	38,000	111.1%	47,962	126.2%
演劇・舞踊事業等	4,206	12,192	289.9%	4,423	36.3%
その他	10,240	6,104	59.6%	1,535	25.1%
演奏事業	16,493	18,387	111.5%	13,642	74.2%
室内管弦楽団公演	6,491	7,327	112.9%	5,605	76.5%
混声合唱団公演	5,645	5,474	97.0%	4,769	87.1%
合同公演	4,357	5,586	128.2%	3,268	58.5%
神戸文化ホール事業	66,582	72,475	108.9%	40,118	55.4%
芸術創造・発信事業	22,969	19,655	85.6%	6,151	31.3%
教育普及・育成事業	16,543	22,649	136.9%	21,188	93.5%
鑑賞型事業	27,070	30,171	111.5%	12,779	42.4%
神戸アートビレッジセンター事業	-	16,755	-	24,367	145.4%
演劇・舞踊事業等	-	2,917	-	8,204	281.2%
美術事業	-	4,221	-	2,677	63.4%
映像事業	-	5,567	-	5,521	99.2%
音楽・地域事業	-	4,050	-	7,965	196.7%

施設毎入場者数

(人)

施設名	28年度	29年度		30年度	
	実績	実績	対前年比	実績	対前年比
神戸文化ホール(練習場含む)	563,627	550,614	97.7%	443,773	80.6%
神戸アートビレッジセンター	-	162,791	-	176,283	108.3%
区民センター	1,480,733	1,534,473	103.6%	1,463,286	95.4%